



公益社団法人
日本学生陸上競技連合

会報

向上と進展



「令和3年度上半期の事業を終えて」

会長 松本 正之

日頃は、日本学生陸上競技連合の運営に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この上半期、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、様々な制約の下での運営となりましたが、その間多くの関係各位のお力添えに改めて感謝申し上げます。

日本学連の機関運営の要となります会議の開催につきましては、5月の第48回理事会、6月の第13回定時社員総会、9月の第49回理事会、また各理事会開催のための企画委員会の開催など、本連合の運営に関する協議や諸報告など、必要な議題を討議し、進めてまいりました。また、主催競技会に関しては、2021日本学生陸上競技個人選手権大会を6月に、7月は秩父宮賜杯第61回実業団・学生対抗陸上競技大会、9月に入っては天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会を、無観客ではありましたが開催いたしました。

個人選手権大会では対抗戦とは違い、個人の力が試されるより良い機会であったと思います。厳しい環境下での各選手の努力の結果、好記録が続出する大会となりました。

実業団対学生陸上では、日本選手権で活躍した実業団選手や東京五輪代表選手が多数出場し、学生競技者が学ぶことが多く大変有意義なものでありました。特に、実業団選手が女子メドレーリレーで日本最高記録を出したことは、学生競技者にとって更なる高みへの大きな刺激となったことと思います。今後も実業団

[発行所] 公益社団法人 日本学生陸上競技連合
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

と共に、この競技会を通じてより多くの方に陸上競技に興味・関心を持っていただけるような良い大会にして参りたいと考えております。

8月に中国・成都で開催予定でありましたワールドユニバーシティゲームズは残念ながら延期となりました。

今年度の日本インカレは埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催され、学生新記録や大会新記録が数多く誕生する大会となりました。エントリー数が例年の2割増しとなり立て込んだ競技日程ではありましたが、運営に支障をきたすことなく無事大会を終了することができました。これも埼玉陸上競技協会、熊谷市、関東学生陸上競技連盟の皆様のご協力の賜物であり、あらためて心から感謝申し上げます。来年は京都で開催されます。

10月からはいよいよ下半期に入り、各種駅伝、道路競技大会が開催予定ではありますが、新型コロナウイルス感染症は未だ予断を許さない状況であります。開催に向け全国の学生競技者や応援して下さるファンの為にも地元関係者の方々のご協力を得ながら努力して参りますので、学生競技者諸君の一層の競技力の向上を期待すると共に、関係各位のより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息を願い、ご挨拶いたします。

公益社団法人 日本学生陸上競技連合

会報 第162号 (令和3年10月26日発行)

向上と進展

目次

会長あいさつ 松本正之	1
【大会報告】	
2021日本学生個人選手権大会	3
2021オールスターナイト陸上	6
天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会	8
第33回出雲全日本大学選抜駅伝競走	12
【会議等報告】	
第48回理事会 議事録	14
第13回定時社員総会 議事録	27
第49回理事会 議事録	29
【その他】	
競技委員会／総務委員会より	33
令和3年度会員について	34
賛助会員・募集／編集後記	35

【大会報告】 2021日本学生陸上競技個人選手権大会

副幹事長 公文 こころ

1. 大会名：2021日本学生陸上競技個人選手権大会
2. 大会期日：2021年6月4日（金）～6日（日）
3. 場 所：神奈川・レモンガススタジアム平塚
（ハンマー投は相模原ギオンフィールド）
4. エントリー数：男子655名、女子682名
5. 大会総括

レモンガススタジアム平塚（ハンマー投は相模原ギオンフィールド）にて2021日本学生陸上競技個人選手権大会が行われました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって中止となった本大会は、感染症対策を十分に講じたうえで開催され、大会新記録が7つ、大会タイ記録が1つと好記録が続出した大会となりました。

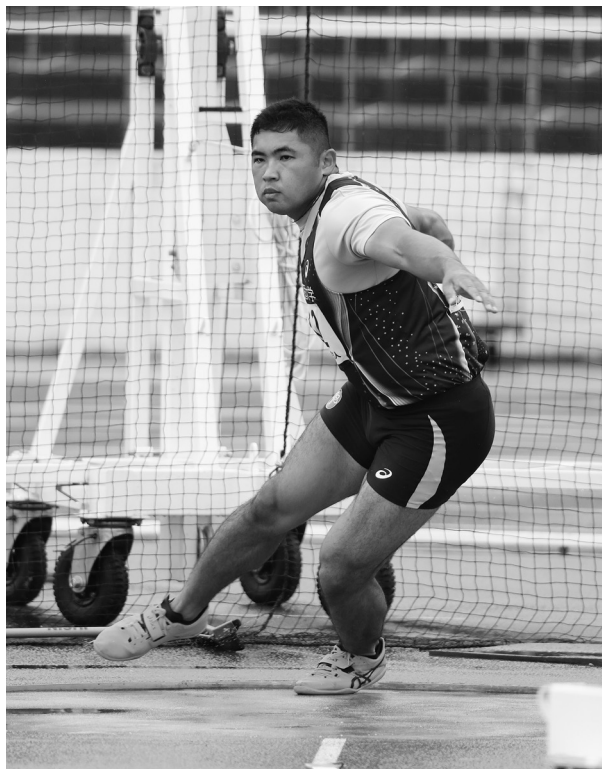
相模原ギオンフィールドにて1日目に実施した男女ハンマー投は暴風吹き荒れ、横殴りの雨が叩きつける中での競技開始となりました。しかし、選手たちはそれぞれ実力を発揮し、男子は中川達斗選手（九州共立大）が、女子は勝冶玲海選手（九州共立大）が共に優勝を飾りました。

レモンガススタジアムにて1日目に行われました女子100mハードル決勝では玉置菜々子選手（国士舘大）が追い風1.4mの中、13秒30の大会新記録を出して見事優勝しました。2日目に行われました男子5000mでは市村朋樹選手（東海大）が大会記録を0.2秒更新して優勝、女子5000mにおいても小林成美選手（名城大）が従来の記録を13秒ほど更新して優勝を果たしました。今シーズンランキング上位であった不破聖衣羅選手（拓殖大）も1年生ながら健闘しましたが、惜しくも2位となりました。女子100mでは石川優選手（青山学院大）が予選にて大会記録を更新。決勝では壹岐あいこ選手（立命館大）らを大きく引き離し、1年生ながら優勝を果たしました。

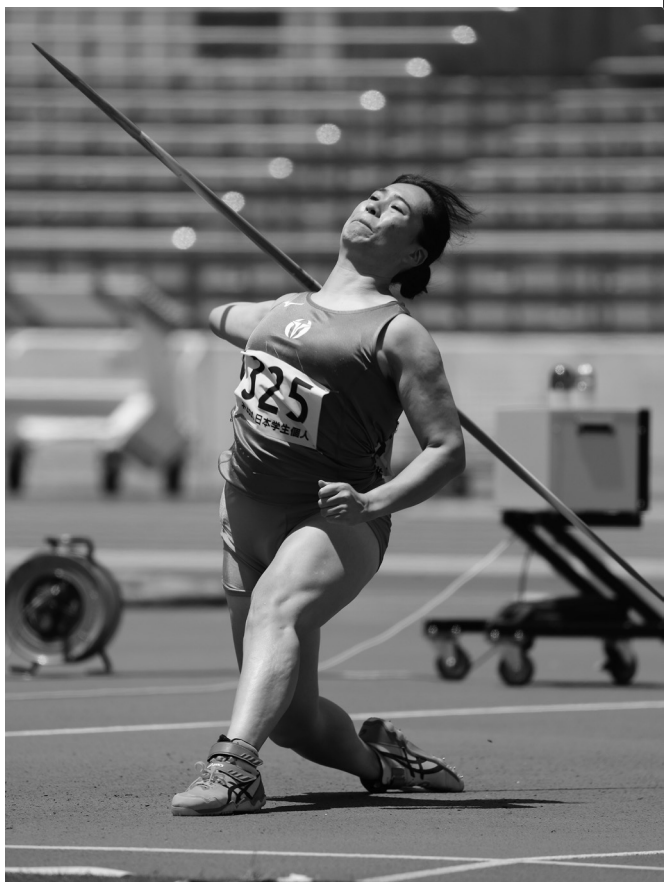
残念ながら本年もチャイニーズタイペイなどの海外選手と競い合うことは叶いませんでしたが、『個人と個人の競い合い』『自己への挑戦』という大会の趣旨に沿った白熱した戦いが見られた大会であったと感じます。



女子100mHは玉置菜々子（国士舘大、左）が学生歴代8位タイの13秒30（+1.4＝大会新）でV。2位の岩佐葉結子（東京学芸大、右）はU20日本歴代6位の13秒44をマークした



男子投てき2冠に輝いた幸長慎一（四国大）。2日目に行われた砲丸投は4投目に17m37をブットしてトップに立つと、最後に17m76と記録を伸ばした。5月29日の徳島県チャレンジ記録会で日本歴代3位、学生新の60m69を放ったばかりの円盤投はあいにくの悪コンディションだったが、サードベストの56m71で中止になった昨年を挟んで“連覇”を決めた



女子やり投で日本歴代4位の62m39を放った武本紗栄（大阪体育大）。大会記録を2m76cm更新した

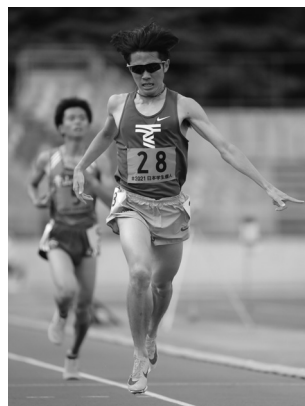


男子走幅跳で8m00（+1.5）をマークし、学生14人目の8mジャンパーとなった伊藤陸（近畿大工業高専）

女子100mを11秒58（+0.4）で制した石川優（青山学院大）。予選で大会新の11秒48（+1.5）を叩き出し、準決勝でも大会前の自己記録11秒56を上回る11秒51（+0.8）とハイアベレージを残した



上位2人が大会記録（15分46秒84）を上回った女子5000mは、日本選手権10000m3位の小林成美（名城大、左）がラストで逆転して15分33秒69で優勝。15分34秒12で2位の不破聖衣来（拓殖大、右）とともに自己新をマークした



男子5000mは市村朋樹（東海大）が大会新の13分45秒20でV。自己記録を3秒15更新した

男 子

●100m(+0.4)・5日

①デーデー・ブルーノ(東海大4)	10.29
②桑田成仁(法政大4)	10.36
③佐々木啓輔(立命館大4)	10.41
④大上直起(山形大4)	10.41
⑤福島 聖(富山大4)	10.44
⑥新崎仁也(九州共立大4)	10.51
⑦伊藤 輝(山形大4)	10.56
鈴木凉太(城西大4)	棄権

●200m(+1.1)・6日

①高木 恒(近畿大3)	20.94
②山路康太郎(法政大3)	20.99
③林 拓優(日本体育大4)	21.02
④稲毛 碧(早稲田大2)	21.06
⑤宮内魁太(京都産業大4)	21.19
⑥三田寺虎琉(日本大1)	21.21
⑦本多諒平(関西大2)	21.35
⑧藤井南希(大阪経済大4)	25.49

●400m・5日

①佐藤恵斗(環太平洋大2)	46.99
②根本大輝(順天堂大4)	47.22
③村木涉真(早稲田大M1)	47.29
④富田大智(法政大2)	47.30
⑤野瀬大輝(立命館大3)	47.42
⑥西山遥斗(近畿大3)	47.60
⑦今泉堅貴(筑波大2)	48.55
新上健太(早稲田大2)	棄権

●800m・6日

①戸澤悠介(摂南大3)	150.93
②松本 駿(関西大3)	151.17
③早川龍斗(岐阜協立大3)	151.83
④藤本浩太郎(関西学院大4)	152.43
⑤橋本将弥(同志社大4)	153.68
⑥高橋 創(東京大2)	156.45
⑦本多創一郎(筑波大4)	202.14
⑧津田竜太郎(大阪体育大3)	206.22

●1500m・4日

①佐久間秀徳(明治大4)	351.89
②谷澤竜樹(中央大4)	352.25
③村本龍彦(山梨学院大3)	354.07
④梅谷康太(流通経済大3)	354.77
⑤中嶋光征(札幌学院大2)	355.11
⑥片山直人(環太平洋大3)	355.27
⑦石川 心(東洋大2)	356.35
⑧横田佳介(中京大4)	356.48

●5000m・5日

①市村朋樹(東海大4)	1345.20(2)
=大会新	
②若林宏樹(青山学院大1)	1346.82(2)
③山内健登(青山学院大2)	1350.43(2)
④伊藤田達弥(順天堂大3)	1351.34(2)
⑤野村優作(順天堂大3)	1355.46(2)
⑥近藤幸太郎(青山学院大3)	1356.55(2)
⑦野村昭夢(青山学院大1)	1359.31(2)
⑧及川耀吾(東洋大3)	1402.11(1)

●110mH(+3.8)・4日

①徳岡 凌(立命館大4)	13.50
②横地大雅(法政大3)	13.58
③久保田太一(筑波大3)	13.75
④宮崎 匠(中央大2)	13.79
⑤樋口陸人(法政大4)	13.79
⑥柴田竜生(日本体育大3)	13.90
⑦古谷新太(国際武道大3)	13.97
⑧近藤翠月(東海大1)	14.02

●400mH・6日

①村上 翔(同志社大2)	51.08
②児玉悠作(法政大3)	51.51
③深町飛太(城西大2)	51.54
④山科真之介(神戸大2)	51.62
⑤新井貴貴(早稲田大2)	51.94
⑥後藤颯汰(早稲田大3)	52.20
⑦大村東輝(九州共立大1)	53.85
⑧出口晴翔(順天堂大2)	56.58

●3000m S C・6日

①中込 空(山梨学院大3)	85.50
②フング・イブラヒム(札幌学院大1)	85.07(2)
③花谷そら(福岡大2)	85.56
④櫻山直生(大阪大M2)	85.98
⑤藤ノ木文(創価大1)	90.01
⑥大吉優亮(帝京大2)	90.50
⑦河内 峻(大阪国際大4)	90.616

⑧重山源斗(筑波大M1)	90.941
--------------	--------

●10000mW・4日

①古賀友太(明治大4)	40.16.88
②住所大翔(順天堂大4)	41.26.08
③向井大賀(九州共立大2)	41.44.58
④柳橋和輝(国士館大3)	42.08.21
⑤柳原 隼(びわこ成蹊スポーツ大4)	42.11.03
⑥萬壽春輝(順天堂大2)	42.15.20
⑦清水海地(明治大2)	42.19.31
⑧松本祐翔(山梨学院大2)	42.23.05

●走高跳・4日

①堀井遥樹(新潟医療福祉大4)	2.16
②本田基偉(近畿大工業高専5)	2.13
③平塚玄空(日本大M2)	2.13
④渡辺 尚(東海大4)	2.10
⑤中村混希(九州共立大2)	2.05
⑥宮田 風(日本大2)	2.05

●棒高跳・6日

①大崎洋介(日本体育大学3)	5.30
②古澤一生(筑波大1)	5.20
③奥 史玖(順天堂大4)	5.20
④森田凌世(関西学院大4)	5.10
⑤野呂淳人(日本体育大4)	5.10
⑥尾崎駿翔(日本体育大4)	5.10
⑦小林直樹(日本体育大1)	5.10
〃中野隼斗(順天堂大2)	5.10

●走幅跳・5日

①伊藤 陸(近畿大工業高専S1)	8.00(+1.5)
②安立雄斗(福岡大3)	7.92(+1.9)
③津藤広夢(順天堂大3)	7.87(+1.8)
④田中隆太郎(順天堂大1)	7.79(+1.1)
⑤近藤蒼依(東海大3)	7.69(+1.1)
⑥小島康成(鹿屋体育大3)	7.68(+2.2)
⑦宮内勝史(筑波大5)	7.60(+1.8)
⑧久保倉佳吾(東海大4)	7.56(+1.9)

●三段跳・6日

①安立雄斗(福岡大3)	15.81(+0.7)
②山形翔希(環太平洋大4)	15.60(+1.4)
③外村直之(東京学芸大3)	15.54(+0.8)
④秋山裕樹(法政大3)	15.48(+1.0)
⑤岩崎匠海(順天堂大4)	15.36(+1.5)
⑥泉井 陸(新潟医療福祉大2)	15.32(+0.8)
⑦小田大雅(福岡大M1)	15.26(+0.1)
⑧相馬奨之介(日本体育大4)	15.23(+0.6)

●砲丸投・5日

①幸長慎一(四国大M2)	17.76
②岩佐隆時(東海大5)	17.58
③奥村仁志(国士館大3)	16.87
④金城海斗(鹿屋体育大4)	16.51
⑤アツオビン・ジェイソン(福岡大1)	16.45
⑥佐藤皓人(日本大4)	16.38
⑦稻福 颯(中京大3)	16.21
⑧大浦拓哉(新潟医療福祉大4)	16.19

●円盤投・6日

①幸長慎一(四国大M2)	56.71
②飛川龍雅(東海大4)	54.29
③中町真澄(新潟医療福祉大2)	52.57
④山下航生(九州共立大3)	51.62
⑤奥村仁志(国士館大3)	51.07
⑥稻福 颯(中京大3)	48.53
⑦藤原孝史朗(九州共立大2)	48.35
⑧久保田健斗(日本体育大3)	47.00

●ハンマー投・4日

①中川達斗(九州共立大M1)	66.62
②福田翔大(日本大3)	66.18
③小田航平(九州共立大4)	65.19
④久門大起(日本大3)	62.33
⑤川合隆誠(順天堂大3)	62.19
⑥山川混心(中京大2)	62.18
⑦佐々木秀斗(岐阜協立大3)	61.80
⑧吉田明大(京都産業大4)	60.90

●やり投・5日

①鈴木文人(九州共立大4)	73.76
②比嘉 遥(九州共立大M1)	71.01
③南 辰貴(九州共立大3)	70.95
④吉野孝圭(九州共立大1)	69.54
⑤宮川大夢(京都産業大4)	68.41
⑥鈴木 凜(九州共立大1)	68.37
⑦片川志遠(大阪体育大4)	67.97
⑧齊藤一樹(法政大4)	67.07

女 子

●100m(+0.4)・5日

①石川 優(青山学院大1)	11.58
---------------	-------

●200m(+1.7)・6日

①壹岐あこ(立命館大3)	23.87
②三浦愛華(園田学園女子大2)	24.28
③城戸優来(福岡大2)	24.32
④宮田乙葉(甲南大4)	24.45
⑤松尾季奈(立命館大3)	24.60
⑥佐久田有咲(東京女子体育大4)	24.66
齋藤愛美(大阪成蹊大4)	棄権
鷲麻耶子(早稲田大1)	棄権

●400m・5日

①松尾季奈(立命館大3)	54.36
--------------	-------

②山本亜美(立命館大1)	55.15
--------------	-------

③工藤芽衣(立命館大1)	55.23
--------------	-------

④河津真由(福岡大4)	55.80
-------------	-------

⑤金子ひとみ(青山学院大2)	55.94
----------------	-------

⑥吉中日向子(青山学院大2)	56.01
----------------	-------

⑦桑原綾子(大阪成蹊大4)	56.29
---------------	-------

⑧ヒリアー紗璃苗(青山学院大2)	57.19
------------------	-------

●800m・6日	
----------	--

①山口真実(九州共立大1)	210.21
---------------	--------

②山口 光(順天堂大3)	210.47
--------------	--------

③朝日春瑠(日本体育大4)	211.02
---------------	--------

④仲道彩音(鹿屋体育大4)	211.65
---------------	--------

⑤水口 杏(青山学院大1)	211.98
---------------	--------

⑥土岐優花(順天堂大1)	211.99
--------------	--------

⑦小暮真緒(順天堂大1)	214.59
--------------	--------

⑧神園芽衣子(東大阪大4)	214.78
---------------	--------

●1500m・4日	
-----------	--

①山崎りさ(日本体育大1)	428.12
---------------	--------

②保坂晴子(日本体育大2)	428.77
---------------	--------

③西出優月(関西外国語大4)	429.75
----------------	--------

④小暮真緒(順天堂大1)	431.76
--------------	--------

⑤黒石留香(福岡大3)	431.78
-------------	--------

⑥城谷桜子(大阪芸術大4)	432.65
---------------	--------

⑦芝本涼花(佛教大4)	433.07
-------------	--------

⑧牛 佳恵(拓殖大3)	434.04
-------------	--------

●5000m・5日	
-----------	--

①小林成美(名城大3)	1533.69
-------------	---------

②不破聖衣来(拓殖大1)	1534.12
--------------	---------

以上大会新	
-------	--

③荒井優奈(名城大3)	1554.19
-------------	---------

④小松優衣(松山大3)	1555.04
-------------	---------

⑤藤村華純(城西大3)	1604.16
-------------	---------

⑥永里里緒(大阪学院大1)	1604.41
---------------	---------

⑦渡辺光美(城西大3)	1616.81
-------------	---------

⑧増淵拓香(名城大2)	1618.44
-------------	---------

●100mH(+1.4)・4日	
-----------------	--

①玉置菜々子(国士館大3)	13.30=大会新
---------------	-----------

②岩佐美結子(東京学芸大1)	13.44
----------------	-------

③伊藤彩香(福岡大1)	13.60
-------------	-------

④岡崎 汀(甲南大3)	13.63
-------------	-------

⑤中尾あゆみ(青山学院大3)	13.67
----------------	-------

⑥藤代あすか(聖学院大4)	13.75
---------------	-------

⑦猪岡真帆(中京大4)	13.75
-------------	-------

⑧上之園結子(順天堂大3)	13.79
---------------	-------

●400mH・6日	
-----------	--

①山本亜美(立命館大1)	58.73
--------------	-------

②工藤芽衣(立命館大1)	59.28
--------------	-------

③津波愛樹(福岡大4)	59.54
-------------	-------

④有賀知春(青山学院大2)	59.98
---------------	-------

⑤中野菜乃(武庫川女子大2)	100.32
----------------	--------

⑥安達真咲(園田学園女子大4)	101.19
-----------------	--------

⑦大川なずな(青山学院大3)	101.61
----------------	--------

⑧齊藤明佳(園田学園女子大3)	101.88
-----------------	--------

●3000m S C・6日	
---------------	--

①西出優月(関西外国語大4)	100.80
----------------	--------

②宮内志佳(日本体育大2)	102.07
---------------	--------

③西山未奈美(松山大4)	102.29
--------------	--------

④笠原奈月(福岡大2)	102.58
-------------	--------

⑤堀尾咲月(京都産業大4)	102.78
---------------	--------

⑥中村朱里(日本体育大3)	103.30
---------------	--------

⑦井上葉南(名城大4)	103.40
-------------	--------

⑧小椋美海(関西外国語大4)	103.97
----------------	--------

●10000mW・5日	
-------------	--

①藪田みのり(武庫川女子大2)	46.13.21
-----------------	----------

②立見真央(中京大4)	46.28.72
-------------	----------

③梅野倭子(順天堂大1)	46.34.71
--------------	----------

④小出佳奈(順天堂大1)	47.37.37
--------------	----------

⑤阿部麻利亜(札幌国際大4)	48.54.90
----------------	----------

⑥上森佳代(中京大3)	48.59.12
-------------	----------

⑦杉林 歩(大阪大2)	49.03.09
-------------	----------

⑧下岡仁美(同志社大2)	49.03.85
--------------	----------

●走高跳・4日	
---------	--

①武山玲奈(環太平洋大4)	1.70
---------------	------

②神坂莉子(日本女子体育大4)	1.70
-----------------	------

③八重樫澄佳(筑波大1)	1.65
--------------	------

〃亀田実咲(福岡大1)	1.65
-------------	------

〃梅原遥奈(日本大3)	1.65
-------------	------

〃細田弥々(日本体育大1)	1.65
---------------	------

〃岸本志恵(日本女子体育大2)	1.65
-----------------	------

⑧斎輪夢未(新潟医療福祉大2)	1.65
-----------------	------

【大会報告】

2021オールスターナイト陸上 (秩父宮賜杯第61回実業団・学生対抗陸上競技大会)

常任幹事 安岡 あき実

1. 大会名：2021 オールスターナイト陸上
(秩父宮賜杯第61回実業団・学生対抗陸上競技大会)
2. 大会期日：2021年7月17日(土)
3. 場所：神奈川県 レモンガススタジアム平塚
4. エントリー数：
学 生 68名(男子27名/OP参加7名、女子27名/OP参加7名)
実業団 60名(男子27名/OP参加3名、女子27名/OP参加3名)
5. 選手団役員：
監督：栗山 佳也、
男子コーチ：水野 増彦、女子コーチ：仲村 明、
男子主将：デーデー・ブルーノ、女子主将：高島真織子、
マネージャー：古屋敷律希

6. 大会総括

令和3年7月17日(土)、レモンガススタジアム平塚にて、2021オールスターナイト陸上(秩父宮賜杯第61回実業団・学生対抗陸上競技大会)が開催されました。

今大会は新型コロナウイルス感染症の影響により無観客での開催となりましたが、6月に行われた日本選手権で男子100mにおいて2位の成績を収めたデーデー・ブルーノ選手(東海大)や、同大会女子400mにおいて上位3位を占めた小林菜由選手(J.VIC)、松本奈菜子選手(東邦銀行)、青山聖佳選手(大阪成蹊学園)などの有力選手がそろいました。また、女子メドレーリレーでは日本最高記録及び大会新記録が、女子400mでも大会新記録が誕生し、

多くの選手が自己ベストやシーズンベストを更新するなど大変白熱した戦いが見られた大会となりました。

総合得点では実業団チームが235点、学生チームが163点と及びませんでした。熱い戦いとなりました。表彰としては、男女に最優秀選手賞、敢闘賞、MIP賞(Most Impressive Player = 最も印象に残った選手)を授与いたしました。最優秀選手賞は、男子110mHで日本歴代9位の13秒41を出した藤井亮汰選手(三重県スポーツ協会)、女子400mにて大会新記録の53秒20で優勝した青山選手が選ばれました。敢闘賞には、男子100mを制した東田旺洋選手(栃木県スポーツ協会)が、女子砲丸投で日本歴代7位の16m09をマークして優勝した大野史佳選手(埼玉大)がそれぞれ選ばれ、MIP賞には男子110mHを学生歴代3位タイの13秒45を出した横地大雅選手(法政大)と女子三段跳で日本学生記録6位の13m19を跳び優勝した高島真織子選手(福岡大)が選ばれました。

今年度も新型コロナウイルス感染症が収束の兆しも見えない中、大会を無事に終了することができたのは、神奈川陸上競技協会並びに平塚市の皆様のご尽力と関係各位のご支援、ご協力があったことと、深く感謝いたします。来年以降もより良い大会にすべく精進してまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



男子110mHは藤井亮汰(三重県スポーツ協会、右端)が13秒41(+0.3)で制覇。左へ学生歴代3位タイの13秒45で2位の横地大雅(法政大)、13秒52で3位の石川周平(富士通)、6位の久保田太一(筑波大)



女子モデルリレーで9年ぶり日本最高をマークした実業団。1走は100mに11秒63(+0.6)で優勝した名倉千晃(N.T.N、右端)、2走は日本選手権400m覇者の小林菜由(J.V.I.C)、3走は今大会の400mを53秒20の大会新で制した青山聖佳(大阪成蹊学園園職)、4走は同じく53秒23の自己新で2位だった松本奈菜子(東邦銀行)が務め、従来の記録を0秒22更新する2分05秒59をマークした

女子砲丸投で優勝を決めた後の6投目に日本歴代7位の16m09をブットした大野史佳(埼玉大)



女子三段跳で最終6回目に学生歴代6位の13m19(+0.8)をマークして逆転優勝を飾った高島真織子(福岡大)

男子100mは東田旺洋(栃木県スポーツ協会、左から2人目)が自己タイの10秒18(+1.4)でV。東京五輪4×100mリレー代表のデーデー・ブルーノ(東海大、その右)は10秒28で2位だった



7m87(+2.5)で男子走幅跳を制した安立雄斗(福岡大)

第61回実業団・学生対抗 成績

7月17日 神奈川・レモンガスタジアム平塚

男 子

●100m(+1.4)

- ①東田旺洋(栃木県スポーツ協会) 10.18
- ②デーデー・ブルーノ(東海大) 10.28
- ③大上直起(仙台大) 10.35
- 〃矢橋寛明(ワイアティン三重RC) 10.35
- ⑤桑田成仁(法政大) 10.36
- ⑥白石黄良々(セレスポ) 10.46

●400m

- ①河内光起(大阪ガス) 46.74
- ②西山遥斗(近畿大) 47.15
- ③佐藤恵斗(環太平洋大) 47.24
- ④堀井浩介(住友電工) 47.26
- ⑤片山雄斗(ユメオミライ) 47.82
- ⑥村木涉真(早稲田大) 47.94

●1500m

- ①飯島陸斗(阿見AC) 3:46.46
- ②荒井七海(Honda) 3:47.43
- ③森谷公亮(参天製菓) 3:48.83
- ④谷澤竜弥(中央大) 3:49.26
- ⑤村本龍彦(山梨学院大) 3:51.28
- ⑥梅谷康太(流通経済大) 3:54.02

●1100mH(+0.3)

- ①藤井亮汰(三重県スポーツ協会) 13:41
- ②横地大雅(法政大) 13:45
- ③石川周平(富士通) 13:52
- ④野本周成(愛媛県競技力向上) 13:58
- ⑤宮崎 匠(中央大) 13:88
- ⑥久保田太一(筑波大) 14:08

●400mH

- ①松下祐樹(ミズノ) 50:32
- ②豊田将樹(富士通) 50:60
- ③児玉悠作(法政大) 50:64
- ④岸本鷹幸(富士通) 51:13
- ⑤深町飛太(城西大) 52:37
- ⑥村上 翔(同志社大) 54:16

●スウェーデンリレー

- ①実業団 1:52.02
(矢橋、東田、河内、堀井)
- ②学生 1:52.34
(桑田、大上、佐藤、西山)

●棒高跳

- ①竹川倅生(丸元産業) 5:50
- ②森田凌世(関西学院大) 5:30
- ③大崎洋介(日本体育大) 5:30

- ④江島雅紀(富士通) 5:30
- ⑤奥 史玖(順天堂大) 5:10
山本聖途(トヨタ自動車) 棄権

●走幅跳

- ①安立雄斗(福岡大) 7.87(+2.5)
- ②津藤広夢(順天堂大) 7.80(+2.6)
- ③嶺村鴻汰(富士通) 7.77(+3.0)
- ④田中隆太郎(順天堂大) 7.74(+0.8)
- ⑤小田大樹(ヤマダホールディングス) 7.49(+1.8)
- ⑥藤原駿也(レディ薬局) 7.29(+0.2)

●円盤投

- ①湯上剛輝(トヨタ自動車) 58.30
- ②堤 雄司(AL SOK群馬) 55.23
- ③米沢茂友樹(オリコ) 54.33
- ④幸長慎一(四国大) 54.29
- ⑤中町真澄(新潟医療福祉大) 51.54
- ⑥飛川龍雅(東海大) 49.50

●やり投

- ①小南拓人(染めQテクノロジ) 78.83
- ②ディーン元気(ミズノ) 77.55
- ③小椋健司(栃木県スポーツ協会) 76.63
- ④宮川大夢(京都産業大) 67.62
- ⑤山崎 壘(上武大) 65.81
- ⑥片川志遠(大阪体育大) 64.40

■オープン

●100m

- 林 拓優(日本体育大) 10.54(+1.4)

●1500m

- 片山直人(環太平洋大) 4:00.73

●110mH

- 樋口陸人(法政大) 13.88(+0.3)
- 矢澤 航(デサントTC) 13.89(+0.3)

●400mH

- 新井公貴(早稲田大) 51.66

●棒高跳

- 澤 慎吾(きらぼし銀行) 5:40
- 野呂惇人(日本体育大) 5:10

●円盤投

- 蓬田和正(ゴールドジム) 55.05
- 阿部敏明(日本大) 54.69

◆男子総合

- ①実業団: 117.5点 ②学生: 82.5点

女 子

●100m(+0.6)

- ①名倉千晃(N.T.N) 11.63

- ②三浦愛華(園田学園女子大) 11.65
- ③世古 和(乗馬クラブクレイン) 11.66
- ④三村香菜実(青山学院大) 11.72
- ⑤城戸優来(福岡大) 11.75
- 御家瀬緑(住友電工) 失格

●400m

- ①青山聖佳(大阪成蹊学園園職) 53.20
- ②松本奈菜子(東邦銀行) 53.23

以上大会新

- ③小林菜由(J.V.I.C) 53.60
- ④松尾季奈(立命館大) 54.11
- ⑤金子ひとみ(青山学院大) 56.00
- ⑥河津真由(福岡大) 56.29

●1500m

- ①飯野摩耶(埼玉医科大グループ) 4:26.23
- ②小暮真緒(順天堂大) 4:26.97
- ③西出優月(関西外国語大学) 4:28.04
- ④土田佳奈(埼玉医科大グループ) 4:28.78
- ⑤藤川 遥(キャンオンAC九州) 4:29.35
- ⑥黒石瑠香(福岡大) 4:40.76

●100mH(+1.1)

- ①鈴木美帆(長谷川体育施設) 13.27
- ②木村文子(エディオン) 13.35
- ③田中佑美(富士通) 13.36
- ④島野聖佳(日本体育大) 13.43
- ⑤岩佐美結子(東京学芸大) 13.51
- ⑥岡崎 汀(甲南大) 13.68

●400mH

- ①山本亜美(立命館大) 57.94
- ②横田華恋(籠谷) 58.12
- ③工藤芽衣(立命館大) 58.69
- ④九鬼友梨恵(加藤建設) 59.95
- ⑤齋藤真佑(七十七銀行) 1:00.10
- ⑥有賀知春(青山学院大) 1:00.22

●スウェーデンリレー

- ①実業団 2:05.59=日本最高、大会新
(名倉、小林、青山、松本)
- ②学生 2:08.37
(三浦、城戸、河津、松尾)

●走高跳

- ①細田弥々(日本体育大) 1.73
- ②徳本鈴奈(友睦物流) 1.73
- ③竹内 萌(栃木県スポーツ協会) 1.70
- ④浅井さくら(伊勢学園教) 1.70
- ⑤神坂莉子(日本女子体育大) 1.67
- 武山玲奈(環太平洋大) 記録なし

●三段跳

- ①高島真織子(福岡大) 13.19(+0.8)
- ②森本麻里子(内田建設) 13.11(+1.8)
- ③菊持早紀(長谷川体育施設) 12.98(+2.1)
- ④河合葵奈(メイスンワーク) 12.73(+1.3)
- ⑤宮口愛子(日本体育大) 12.68(+2.5)
- ⑥金子史絵奈(青山学院大) 12.60(+2.8)

●砲丸投

- ①大野史佳(埼玉大) 16.09
- ②尾山和華(今村病院) 14.84
- ③山本 遥(大阪体育大職) 14.46
- ④日夏涼香(福岡大) 14.18
- ⑤岩本真波(大阪体育大) 13.72
- ⑥齋藤友里(サンヨーホーム) 13.11

●ハンマー投

- ①小館充華(染めQテクノロジ) 61.04
- ②勝山眸美(オリコ) 60.41
- ③藤本咲良(コンドートック) 58.71
- ④松島成美(国際武道大) 56.63
- ⑤高橋沙湖(大阪体育大) 56.30
- ⑥大濱未結(大阪体育大) 52.40

■オープン

●100m

- 高橋明日香(アスレティックス・ジャパン) 11.70(+0.6)

●400m

- 新宅麻未(アットホーム) 56.11
- 吉中日向子(青山学院大) 56.17

●100mH

- 西垣朱音(国士館大) 13.80(+1.1)

●400mH

- 青木穂花(青山学院大) 59.11
- 比嘉和希(富士山の銘水) 1:00.98

●走高跳

- 高橋 渚(日本大) 1.73

●三段跳

- 船田茜理(武庫川女子大) 12.81(+0.8)
- 宮坂 楓(ニッパツ) 12.36(+3.3)

◆ハンマー投

- 尾崎琴音(日本大) 51.36

◆女子総合

- ①実業団: 118点 ②学生: 81点

◆男女総合

- ①実業団: 235.5点 ②学生: 163.5点

【大会報告】 天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会

幹事長 古屋敷 律希

1. 大会名：天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会
2. 大会期日：2021年9月17日（金）～19日（日）
3. 場所：埼玉県・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
4. エントリー数：男子135校1380名
女子116校 925名

5. 大会総括

開催県の埼玉県が緊急事態宣言発令中であったため、厳格な新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での開催となりました。競技会開催にあたって、選手やチームスタッフをはじめ、大会関係者の皆様に多大なるご迷惑、ご不便をおかけしましたこと、大変申し訳なく存じます。また、関わらず、本大会の開催に向けてご尽力いただいた、埼玉陸上競技協会をはじめとする関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

前回大会は、各種目の出場人数やフィールド競技の試技回数など、従来の日本インカレと異なる形での開催となったため、本大会においては通常通りの開催を目指して準備を進めて参りました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の変異株が猛威をふるい、無観客での開催や厳格な入場管理など様々な制限をかけた上での開催となりました。

その一方、昨年から本年にかけて各地で満足に競技会が開催されていないことを考慮し、各種目の参加標準記録や標準記録有効期間を見直したことで、通常開催時（第88回大会・岐阜）の約1.5倍なる2305名のエントリーがありました。感染症対策による様々な制限や各種目におけるラウンド数の変更、窮屈な競技日程などの影響により、選手の皆様に多大なるご負担をおかけしたことかと存じます。しかしながら、このような状況下においても学生新記録3つ、U20日本新記録1つ、大会新記録9つという輝かしい記録が樹立され、競技者が各々の実力を十分に発揮し、非常に充実した大会となりました。

本大会は、東京五輪の日本代表に選ばれた選手たちに多くの人の注目が集まりました。本年6月に110mハードルで日本記録を樹立し、東京五輪では準決勝に進出した泉谷駿介選手（順天堂大）は、1日目の

男子走幅跳で7m73（+0.6）を跳んで3位入賞を果たすと、3日目の男子110mハードルでは13秒29（+1.4）の大会新記録で優勝しました。2年連続3冠に注目が集まった兒玉芽生（福岡大）は、青山華依選手（甲南大）ら東京五輪リレーメンバーが4人出場した女子100mで11秒51（+0.5）をマークして優勝、女子4×100mリレーでは日本学生新記録の44秒51を樹立しました。女子200mでは23秒91（-0.9）で3位となり、2年連続3冠とはなりませんでした、大会を大きく盛り上げてくれました。

また、男子三段跳に出場した伊藤陸（近畿大工業高専）は、4回目に17m00（+1.3）を跳び、17年ぶりに日本学生記録を更新しました。

総合成績としては、男子は順天堂大学が昨年の雪辱を果たして2年ぶりの総合優勝、そして女子は日本体育大学が4年ぶりに秩父宮妃杯を手にする結果となりました。

本大会は、このような状況下にもかかわらず。こうして無事に本大会を開催することができたのも、関係各位のご支援、ご協力があったのことに、深く感謝する次第です。来年は京都市のタケビシスタジアム京都にて第91回大会を開催いたします。今後ともご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

男子三段跳で学生初、日本人3人目の大会到達となる17m00（+1.3）をマークして3連覇を飾った伊藤陸（近畿大工業高専）。走幅跳も8m05（+0.8）で制し、この組み合わせでの2冠は41年ぶりという快挙を達成





男子3000m SCは三浦龍司（順天堂大、右）が東京五輪7位の貴塚を見せ、8分32秒47で連覇を達成した



今大会は東京五輪代表たちが各種目で躍動。写真は男子110m Hで13秒29（+1.4）の大会新Vを果たした泉谷駿介（順天堂大、左から2人目）。五輪ではセミファイナリストになった



東京五輪女子4×100m R代表の兒玉芽生（福岡大、左から2人目）が100mを11秒51（+0.5）で2連覇。4×100m Rは2走を務め、チームを連覇、44秒51の日本学生新記録樹立へと導いた。左から走順に伊藤彩香、兒玉、渡邊輝、城戸優来



女子100mは東京五輪4×100m R代表組が上位を独占。左から2位の壺岐あいこ（立命館大）、4位の石川優（青山学院大）、5位の齋藤愛美（大阪成蹊大）は200mを23秒76（-0.9）で2年ぶり制覇、兒玉、3位の青山華依（甲南大）



男子100mは東京五輪4×400m Rでアンカーを務めた鈴木碧斗（東洋大、左端）が10秒33（-0.2）の自己新で優勝



黒川和樹（法大、左）と山内大夢（早大）の東京五輪代表対決に注目が集まった男子400m H。山内が49秒28で黒川を抑えて初優勝を飾った。前回優勝の山本竜大（日本大院）が3位



女子3000m S Cで1年時から3連覇を達成した吉村玲美（大東文化大）。2周目以降は独走で9分41秒43の日本学生新記録を樹立した

男子砲丸投でU20日本最高となる17m64をブットして1年生優勝を飾ったアツオビン・ジェyson（福岡大）



ハイレベルとなった女子100m Hは学生歴代4位の13秒23（+1.8）をマークした芝田愛花（環太平洋大、左から2人目）が初優勝。2位の玉置菜々子（国士館大、右から2人目）は自己新の13秒26。連覇を狙った島野真生（日本体育大、左）が13秒32で3位だった



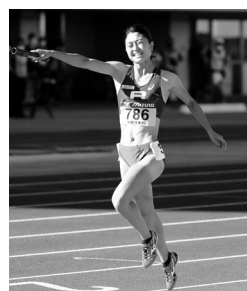
男子4×400m Rは東洋大が学生歴代9位となる3分05秒05で優勝。前回、連覇が4でストップしたが、見事に王座を奪還した



五輪代表組の活躍もあり、順天堂大が86点を獲得して2年ぶり29回目の男子総合優勝を果たした



学校対抗の女子は93点を獲得した日本体育大学が4年ぶり9回目の頂点に立った



女子4×400m Rは立命大が3分38秒44で初優勝。アンカーの塩見綾乃がバトン突き出してフィニッシュした

第90回日本学生対校選手権 成績

9月17日～19日 埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

男子

●100m(-0.2)・18日

①鈴木碧斗（東洋大2）	10.33
②鈴木涼太（城西大4）	10.34
③三浦勸央奈（早稲田大3）	10.35
④柴原拓也（関西学院大4）	10.37
⑤佐々木啓輔（立命館大4）	10.41
⑥瀬尾英明（順天堂大3）	10.45
⑦本多諒平（関西大4）	10.50
⑧林 拓優（日本体育大4）	10.67

●200m(+1.3)・19日

①鈴木涼太（城西大4）	20.50
②上山紘輝（近畿大4）	20.69
③地下航和（環太平洋大1）	20.78
④松本 朗（早稲田大4）	20.88
⑤木村颯太（明治大2）	20.92
⑥三浦勸央奈（早稲田大3）	20.92
⑦井澤竜二（日本体育大3）	20.92
⑧井本佳伸（東海大4）	20.97

●400m・18日

①友田真隆（東京理科大1）	46.35
②岩崎立来（大阪体育大3）	46.59
③中島佑矢ジョセフ（東洋大2）	47.02
④莊司晃佑（日本大3）	47.12
⑤中里将基（作新学院大3）	47.24
⑥柴崎悠斗（東洋大4）	47.39
⑦陰山彩大（日本大3）	47.75
⑧小竹理恩（早稲田大4）	47.83

●800m・19日

①飯澤千翔（東海大3）	1:50.47
②松本純弥（法政大3）	1:51.07

③源 裕貴（環太平洋大4）	1:51.48
④根本大輝（順天堂大4）	1:51.61
⑤松本 駿（関西大3）	1:51.83
⑥三木秀斗（近畿大4）	1:52.31
⑦山崎優希（広島経済大3）	1:52.81
⑧安倍優紀（東海大2）	1:54.80

●1500m・17日

①原田凌輔（順天堂大4）	3:43.00
②山田俊輝（中央大2）	3:44.34
③高橋佑輔（北海道大4）	3:45.28
④山崎優希（広島経済大3）	3:45.74
⑤谷澤竜弥（中央大4）	3:46.57
⑥武村知浩（龍谷大4）	3:46.83
⑦林 晃耀（城西大1）	3:47.35
⑧中井啓太（環太平洋大3）	3:47.72

●5000m・19日

①近藤幸太郎（青山学院大3）	13:46.98
②篠原俊太郎（駒澤大1）	13:48.57
③丹所 健（東京国際大3）	13:48.78
④アーネー・サレー（第一工科大3）	13:54.55
⑤杉山魁声（筑波大4）	14:02.24
⑥今江勇人（千葉大M2）	14:04.16
⑦伊豫田達弥（順天堂大3）	14:05.48
⑧新家裕太郎（創価大3）	14:08.92

●10000m・17日

①ジェームズ・ブヌカ（駿河台大4）	27:58.60
②フィリップ・ムルワ（創価大3）	28:00.36
③ワジク・チャールズカマワ（武蔵野学院大2）	28:29.48
④ボニフェス・ムルア（山梨学院大3）	28:44.50
⑤上田颯汰（関西学院大3）	28:52.63
⑥嶋津雄大（創価大4）	28:53.52
⑦ルカ・ムセンビ（東京国際大3）	28:54.14

⑧吉岡智輝（順天堂大4）	28:55.48
--------------	----------

●110mH(+1.4)・19日

①泉谷駿介（順天堂大4）	13.29=大会新
②横地大雅（法政大3）	13.47
③村竹ラシッド（順天堂大2）	13.48
④樋口陸人（法政大4）	13.63
⑤藤原孝輝（東洋大1）	13.72
⑥柴田竜生（日本体育大3）	13.73
⑦徳岡 凌（立命館大4）	13.76
⑧二ノ宮裕平（京都産業大4）	13.85

●400mH・19日

①山内大夢（早稲田大4）	49.28
②黒川和樹（法政大2）	49.51
③山本竜大（日本大M2）	49.98
④出口晴翔（順天堂大2）	50.05
⑤村上 翔（同志社大2）	50.09
⑥田中天智龍（早稲田大2）	50.49
⑦大串弦徳（日本大4）	50.67
⑧後藤颯汰（早稲田大3）	失格

●3000m S C・19日

①三浦龍司（順天堂大2）	8:32.47
②西方大珠（神京川大4）	8:44.00
③松村匡悟（筑波大3）	8:44.57
④諸富 湧（早稲田大1）	8:47.21
⑤中込 空（山梨学院大2）	8:52.47
⑥花谷そら（福岡大2）	8:52.50
⑦藤 逸希（東京国際大2）	8:54.52
⑧服部壮馬（順天堂大1）	9:02.67

●10000m W・18日

①古賀友太（明治大4）	39:45.90
②住所大翔（順天堂大4）	40:41.57
③濱西 諒（明治大3）	41:04.29

④石田 昂（立命館大4）	41:20.57
⑤柳原 隼（びわこ成蹊スポーツ大4）	41:29.57
⑥萬壽春輝（順天堂大2）	41:35.62
⑦村手光樹（東京学芸大3）	41:40.98
⑧福井隆真（一橋大4）	41:42.77

●4×100m R・18日

①早稲田大（三浦、佐野、澤、松本）	39.15
②立命館大（遠藤、徳岡、佐々木、梶川）	39.27
③順天堂大（瀬尾、木下、宇野、泉谷）	39.29
④法政大（桑田、林、山本、樋口）	39.31
⑤東洋大（和田、設楽、鈴木、宮本）	39.56

●4×400m R・19日

①早稲田大（小竹、西、澤、山内）	3:05.05
②早稲田大（高木、川西、上山、末長）	3:05.38
③駿河台大（小清水、志賀、勝、杉田）	3:06.43
④法政大（児玉、富田、松本、木下）	3:07.28
⑤慶應義塾大	3:07.38

(岩政, 豊田, 大谷, 川嶋)		／ 14.63(+0.3)-33.29-4.20-51.20-4.27.27]	
⑥日本大	3.09.07	④岩崎将真 (中京大4)	71.30
(陰山, 鈴木, 山本, 莊司)		[11.27(+0.8)-6.58(+0.1)-12.58-1.85-50.62	
⑦城西大	3.14.29	／ 15.31(-0.2)-33.94-4.50-56.93-4.35.57]	
(佐々木, 森, 北澤, 乾)		⑤佐田征義 (順天堂大3)	70.08
福岡大	失格	[11.17(+1.6)-7.01(+0.6)-11.35-1.93-50.42	
(早田, 白形, 福岡, 柴田)		／ 14.80(+0.3)-31.74-4.10-45.58-4.32.91]	
●走高跳・18日		⑥市川翔太 (福岡大4)	69.23
①平塚空玄 (日本大6)	2.15	[11.32(+1.5)-7.01(+0.4)-12.08-1.90-50.60	
②永島将貴 (福岡大2)	2.10	／ 15.87(-0.2)-35.55-4.00-50.75-4.42.44]	
〃本田基偉 (近畿大工業高専5)	2.10	⑦前川済幸 (中京大4)	69.09
③堀井遥樹 (新潟医療福祉大4)	2.10	[11.10(+1.5)-6.31(+0.5)-11.54-1.75-50.94	
⑤柴田涼太郎 (筑波大3)	2.10	／ 15.36(-0.5)-33.09-4.40-59.82-4.39.82]	
〃宅間泰河 (大阪国際大3)	2.10	⑧山下朋紀 (日本大3)	69.08
⑦藤井綾真 (筑波大3)	2.10	[11.05(+1.6)-6.91(+0.5)-11.30-1.85-51.97	
〃渡辺 尚 (東海大4)	2.10	／ 14.53(+0.3)-29.30-4.10-52.24-4.39.89]	
●棒高跳・19日		■男子総合得点	
①古澤一生 (筑波大1)	5.40	①順天堂大	86
②柄澤智哉 (日本体育大1)	5.40	②日本大	55
③奥 吏朗 (順天堂大4)	5.30	③早稲田大	46
〃尾崎駿翔 (日本体育大4)	5.30	④法政大	38
⑤大崎洋介 (日本体育大3)	5.30	⑤九州共立大	36
⑥小林拓己 (育英大2)	5.30	⑥東洋大	36
⑦三戸田湧司 (関西学院大3)	5.20	⑦福岡大	32
〃石丸颯太 (順天堂大M1)	5.20	⑧日本体育大	30.5
●走幅跳・17日		●100m(+0.5)・18日	
①伊藤 陸 (近畿大工業高専S1)	8.05(+0.8)	①兒玉芽生 (福岡大4)	11.51
②島海勇斗 (日本大2)	7.88(+1.3)	②壹岐あてこ (立命館大3)	11.67
③泉谷駿介 (順天堂大4)	7.73(+0.6)	③青山華依 (甲南大1)	11.69
④松本慧佑 (同志大4)	7.69(+1.4)	④石川 優 (青山学院大1)	11.74
⑤安立雄斗 (福岡大3)	7.58(+0.8)	⑤齋藤 愛 (大阪学園大4)	11.86
⑥藤原孝輝 (東洋大1)	7.55(+0.3)	⑥三浦愛華 (大阪国際女子大2)	11.87
⑦藤原陸登 (環太平洋大3)	7.55(+1.5)	⑦田路遙香 (中央大2)	11.92
⑧作家弥希 (駿河台大2)	7.49(+0.9)	⑧青野朱生 (山梨学院大3)	11.94
●三段跳・19日		●200m(-0.9)・19日	
①伊藤 陸 (近畿大工業高専S1)	17.00(+1.3)	①齋藤愛美 (大阪成蹊大4)	23.81
	＝日本学生新, 大会新	②壹岐あてこ (立命館大3)	23.76
②安立雄斗 (福岡大3)	16.20(±0)	③兒玉芽生 (福岡大4)	23.91
③岩崎孝史 (鹿屋体育大4)	15.82(+0.6)	④青野朱生 (山梨学院大3)	24.16
④野島勇斗 (仙台大4)	15.73(+0.9)	⑤田路遙香 (中央大2)	24.35
⑤荒木 基 (千葉商科大3)	15.70(+0.2)	⑥青山華依 (甲南大1)	24.43
⑥外所晴貴 (順天堂大3)	15.60(-0.2)	⑦安達菜鈴 (園田学園女子大1)	24.53
⑦相馬凌之介 (日本体育大4)	15.59(+1.7)	⑧石堂陽奈 (環太平洋大1)	25.06
⑧小田大雅 (福岡大M1)	15.44(+0.8)	●400m・18日	
●砲丸投・18日		①高島咲季 (青山学院大2)	55.46
①アソビシン・ジェイソン (福岡大1)	17.64	②須藤美咲 (日本体育大2)	55.78
②奥村仁志 (国士館大3)	17.17	③後野詩衣菜 (駿河台大4)	56.26
③金城海斗 (鹿屋体育大4)	17.05	④大島梨子 (中央大3)	56.81
④阿部敬明 (日本大4)	16.68	⑤飯田聖 (中央大1)	56.82
⑤若佐隆時 (東海大5)	16.58	⑥桑原綾子 (大阪成蹊大4)	56.98
⑥佐藤皓人 (日本大4)	16.30	⑦金子ひとみ (青山学院大2)	57.43
⑦稲福 颯 (中京大3)	16.16	⑧中野葉乃 (武庫川女子大2)	57.78
⑧幸長慎一 (四国大M2)	15.80	●800m・19日	
●円盤投・17日		①塩見綾乃 (立命館大4)	2.05.57
①幸長慎一 (四国大M2)	54.18	②山口 光 (順天堂大3)	2.06.61
②飛川龍雅 (東海大4)	51.98	③山口真実 (九州共立大1)	2.07.55
③阿部敬明 (日本大4)	50.84	④ヒリアー紗璃香 (青山学院大2)	2.07.86
④中村真直 (新潟医療福祉大2)	49.05	⑤畑田ひと (京都教育大3)	2.10.16
⑤久保健斗 (日本体育大3)	47.97	⑥細井礼菜 (慶應義塾大3)	2.11.14
⑥山下航生 (九州共立大3)	47.89	⑦仲道彰司 (鹿屋体育大4)	2.12.79
⑦三井康平 (国士館大2)	47.52	⑧窪 美咲 (大阪大2)	2.15.89
⑧藤原孝幸 (九州共立大2)	47.08	●1500m・17日	
●ハンマー投・19日		①保坂晴子 (日本体育大2)	4.23.28
①中川達斗 (九州共立大M1)	70.58	②山本有真 (名城大3)	4.24.13
②久門大起 (日本大3)	66.26	③櫻原空 (筑波大2)	4.24.61
③山川滉心 (中京大2)	65.82	④高松智美M・センビ (名城大4)	4.25.34
④小田航平 (九州共立大4)	65.60	⑤山崎りさ (日本体育大1)	4.25.86
⑤佐々木秀斗 (岐阜協立大3)	63.86	⑥牛 佳慧 (拓殖大3)	4.26.20
⑥石坂奨真 (順天堂大3)	63.86	⑦谷本七佳 (名城大1)	4.26.67
⑦中安球登 (京都産業大3)	62.71	⑧小真真緒 (順天堂大1)	4.26.86
⑧藤本智大 (九州共立大4)	61.29	●5000m・19日	
●やり投・17日		①不破聖衣来 (拓殖大1)	15.50.32
①吉野奇圭 (九州共立大1)	73.98	②林成美 (名城大3)	15.54.14
②鈴木 凜 (九州共立大1)	72.57	③山崎りさ (日本体育大1)	15.59.85
③片川志遠 (大阪体育大4)	71.94	④保坂晴子 (日本体育大2)	16.01.77
④秦 康太 (大阪体育大3)	70.70	⑤村松 灯 (立命館大1)	16.02.15
⑤堤光太郎 (筑波大2)	70.31	⑥永長里緒 (大阪学院大1)	16.02.74
⑥鈴木文人 (九州共立大4)	70.25	⑦山本優 (松山大3)	16.03.71
⑦齊藤一樹 (法政大4)	69.16	⑧小大有真 (名城大3)	16.11.82
⑧鐘ヶ江周 (慶應義塾大4)	69.07	●10000m・17日	
●十種競技・17～18日		①鈴木優花 (大塚大校4)	32.04.58＝大会新
①川元莉々輝 (立命館大2)	72.50	②飛田凛香 (立命館大3)	32.56.71
[10.79(+1.4)-7.13(+0.8)-12.00-1.90-49.92		③小松花菜 (松山大3)	33.01.16
／ 14.74(-0.5)-33.31-4.20-53.20-4.46.60]		④和田有菜 (名城大4)	33.09.61
②森口諒也 (東海大M1)	72.20	⑤柳田浩希 (関西大4)	33.12.55
[10.74(+1.4)-6.85(+0.6)-12.25-1.80-49.10		⑥棚谷日香 (名城大2)	33.23.85
／ 14.17(+0.3)-32.39-4.20-52.78-4.45.03]		⑦加藤詩帆 (大阪学院大4)	33.24.79
③原口 凜 (国士館大4)	71.78	⑧黒田 濤 (日本体育大3)	33.31.34
[11.01(+1.4)-6.86(+0.9)-10.00-1.93-49.33		●100mH(+1.8)・19日	

③島野真生 (日本体育大2)	13.32	①高良彩花 (筑波大3)	6.33(+0.3)
④中尾あゆみ (青山学院大3)	13.35	②吉岡美玲 (筑波大4)	6.13(+0.4)
⑤村岡将希 (北海道教育大4)	13.38	③木村美海 (四国大3)	5.96(+0.3)
⑥岩佐美結子 (東京学芸大1)	13.56	④小林 聖 (岐阜協立大4)	5.93(+0.6)
⑦手塚麻衣 (富山大2)	13.60	⑤東 祐希 (日本体育大4)	5.88(+0.4)
⑧大久保光 (日本体育大M2)	13.71	⑥小玉葵水 (東海大北海道3)	5.88(+1.5)
●400mH・19日		⑦松永理沙ジェニア (関西学院大1)	5.87(+0.3)
①川村優佳 (早稲田大2)	58.57	⑧吉岡里紗 (中央大2)	5.84(+0.6)
②関本萌香 (早稲田大4)	58.83	●三段跳・18日	
③工藤芽衣 (立命館大1)	59.03	①内山咲良 (東京大6)	13.02(+1.0)
④青木穂花 (青山学院大2)	59.08	②高良彩花 (筑波大3)	12.95(+0.2)
⑤大野瑞奈 (山梨学院大1)	59.13	③金子史絵奈 (青山学院大4)	12.80(+1.0)
⑥津波愛樹 (福岡大4)	59.51	④高島真織子 (福岡大4)	12.77(-0.3)
⑦有賀知春 (青山学院大2)	59.69	⑤船田善理 (武庫川女子大3)	12.72(+1.0)
⑧村上夏美 (早稲田大4)	1.00.60	⑥八田真奈 (関西大3)	12.58(+0.6)
●3000mS C・19日		⑦吉村月乃 (愛知教育大4)	12.53(+0.5)
①吉村玲美 (大東文化大3)	9.41.43	⑧宮口愛子 (日本体育大3)	12.49(+0.7)
	＝日本学生新, 大会新	●砲丸投・19日	
②宮内志佳 (日本体育大2)	10.05.33	①大野史佳 (埼玉大3)	16.37
③西山未奈美 (松山大4)	10.09.16	②小山田美由子 (日本大3)	15.75
④堀尾咲月 (京都産業大4)	10.10.80	③都築々佳 (九州共立大M2)	15.30
⑤中村朱里 (日本体育大3)	10.11.79	④進堂りか (九州共立大4)	15.12
⑥谷本七里 (名城大1)	10.11.80	⑤高橋由華 (九州共立大M2)	15.10
⑦赤堀かりん (日本体育大3)	10.13.54	⑥岩本真波 (大阪体育大2)	14.63
⑧櫻原沙紀 (筑波大2)	10.17.41	⑦松土ちひろ (国士館大4)	14.47
●10000mW・18日		⑧日夏涼香 (福岡大1)	14.20
①藪田みのり (武庫川女子大2)	46.03.57	●円盤投・18日	
②梅野梓子 (順天堂大1)	46.23.42	①齋藤真希 (東京女子体育大3)	54.18
③下岡仁美 (同志社大2)	47.07.65	②都築々佳 (九州共立大M2)	52.63
④小田佳奈 (順天堂大1)	47.47.20	③城岡歩和 (九州共立大3)	48.77
⑤上森佳代 (中京大3)	49.25.75	④荒野幸帆 (日本体育大4)	48.29
⑥杉林 歩 (大阪大2)	49.28.91	⑤近藤沙南 (中京大4)	46.85
⑦村上 藍 (順天堂大3)	49.44.95	⑥西山藍那 (筑波大2)	46.07
⑧柴田 葵 (至学館大3)	50.13.56	⑦大迫晴香 (国士館大3)	45.94
●4×100mR・18日		⑧平野優花 (日本体育大4)	45.48
①福岡大	44.51＝日本学生新, 大会新	●ハンマー投・19日	
(伊藤, 兒玉, 渡邊, 城戸)		①松島成美 (国際武道大4)	59.72
②立命館大	45.49	②渡邊ももこ (筑波大3)	58.76
(白井, 佃, 榎本, 壹岐)		③勝沼玲海 (九州共立大2)	58.42
③甲南大	45.86	④高橋沙湖 (大阪共立大M2)	57.69
(宮田, 井戸, 澤谷, 青山)		⑤大濱未結 (大阪体育大1)	56.87
④園田学園女子大	46.01	⑥谷内佳那 (九州共立大4)	56.07
(昌, 三浦, 安達, 廣瀬)		⑦エリカ・テレサ (新潟医療福祉大3)	55.37
⑤駿河台大	46.19	⑧尾崎琴音 (日本大1)	55.16
(鈴木, 児玉, 小針, 田中)		●やり投・17日	
⑥山梨学院大	46.21	①武本紗栄 (大阪体育大4)	59.90
(高須, 阿部, 青野, 大野)		②上田百寧 (福岡大4)	58.72
⑦作新学院大	46.49	③山下実花子 (九州共立大M2)	57.40
(世沼, 福田, 関根, 市川)		④山元祐季 (九州共立大3)	56.51
⑧新潟医療福祉大	46.72	⑤長 麻尋 (国士館大4)	56.47
(小川, 六澤, 笠原, 涌井)		⑥中村 怜 (東大阪大1)	54.16
●4×400mR・19日		⑦泉原千賀子 (園田学園女子大4)	52.33
①立命館大	3.38.44	⑧兵藤秋穂 (筑波大4)	51.30
(西村, 工藤, 壹岐, 塩見)		●七種競技・17～18日	
②園田学園女子大	3.39.38	①大玉華鈴 (日本体育大4)	55.25
(安田, 梅崎, 時田, 安達)		[13.71(+1.5)-1.66-11.81-25.53(+0.2)	
③青山学院大	3.39.60	／ 5.66(+0.8)-42.63-2.25.86]	
(吉中, 金子, 青木, 高島)		②中村雪乃 (東京女子体育大4)	50.97
④福岡大	3.40.46	[14.24(+0.5)-1.60-11.45-25.99(+0.2)	
(安定, 渡邊, 兒玉, 河津)		／ 5.23(-0.5)-38.51-2.26.96]	
⑤大阪成蹊大	3.42.55	③水谷佳歩 (中京大3)	50.29
(立石, 桑原, 淵田, 齋藤)		[14.65(+0.2)-1.69-10.25-26.90(+0.4)	
⑥駿河台大	3.42.95	／ 5.21(-0.4)-39.03-2.24.20]	
(後野, 吉田, 田中, 小針)		④猪岡真帆 (中京大4)	50.10
⑦日本体育大	3.43.71	[13.86(+1.5)-1.55-8.82-25.84(+0.2)	
(藤田, 須藤, 佐々木, 宮武)		／ 5.37(+0.3)-40.75-2.24.48]	
⑧東大阪大	3.47.69	⑤田中友梨 (至学館大2)	49.84
(窪, 有廣, 大西, 郷田)		[15.02(+0.2)-1.50-10.49-26.42(+0.4)	
●走高跳・18日		／ 5.38(+0.6)-43.63-2.21.83]	
①高橋 渚 (日本大4)	1.79	⑥梶木菜々香 (中央大3)	48.87
②齋藤みゆに (中京大1)	1.76	[13.92(+1.5)-1.55-8.63-25.85(+0.2)	
③大玉華鈴 (日本体育大4)	1.73	／ 5.41(+0.1)-36.71-2.30.15]	
④渡邊深友 (愛知教育大1)	1.73	⑦濱口実玖 (国士館大2)	48.50
⑤武山玲奈 (環太平洋大4)	1.70	[14.98(+0.2)-1.63-11.22-27.06(+0.4)	
⑥北原千愛 (日本女子体育大4)	1.70	／ 5.27(+0.4)-38.25-2.33.48]	
〃梅原遥奈 (日本大3)	1.70	⑧安達杏香 (武庫川女子大4)	48.15
⑦齋輪夢未 (新潟医療福祉大2)	1.70	[14.57(+0.5)-1.50-10.56-25.99(+0.2)	
〃岸本志恵 (日本女子体育大2)	1.70	／ 5.12(±0)-36.01-2.25.71]	
●棒高跳・17日		■女子総合	
①大坂谷明里 (園田学園女子大1)	4.00	①日本体育大	93
②古林愛理 (園田学園女子大1)	4.00	②立命館大	54
③前川 淳 (日本体育大4)	3.90	③九州共立大	54
〃台信 愛 (日本体育大2)	3.90	④青山学院大	44
⑤和田沙也夏 (日本体育大4)	3.90	福岡大	43.5
⑥南部珠璃 (中京大M1)	3.80	⑥筑波大	40
⑦小林美月 (同志社大4)	3.70	⑦園田学園女子大	34
⑧諸田祐佳 (中央大2)	3.70	⑧名城大	33
〃金子茉央 (福岡大2)	3.70		
●走幅跳・17日			

【大会報告】

第33回出雲全日本大学選抜駅伝競走

常任幹事 崎井 優希菜

1. 大会名：第33回出雲全日本大学選抜駅伝競走

2. 大会期日：2021年10月10日（日）

3. 場所：鳥根・出雲市

出雲大社正面鳥居前～出雲ドーム前

4. エントリー数：20校

5. 大会総括

10月10日（日）、駅伝シーズンの幕開けとなる出雲全日本大学選抜駅伝競走が行われ、出雲大社正面鳥居前から出雲ドーム前までの全6区間45.1kmの出雲路を、全20チームが力強く駆け抜けました。昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となりましたが、2年ぶりの開催を喜ぶかのようにスタート地点の出雲大社正面鳥居前は雲一つなく晴れ渡りました。

本大会に出場する多くの競技者が様々な競技会で活躍を見せ、各大学の実力が拮抗する中、どの大学が優勝を手にするかに注目が集まりました。1区では、青山学院大学の近藤幸太郎選手が激しいラストスパートを制し、後続を圧倒する走りで区間賞を獲得しました。2区では國學院大学の木付琳選手が安定した走りで区間賞を獲得し、首位に浮上しました。そして3区では、創価大学のフィリップ・ムルワ選手が8人抜きの好走を魅せ見事区間賞を獲得しました。惜しくも区間賞には届かなかったものの、東京国際大学の丹所健選手が2km付近で先頭集団から抜け出すと、力強い走りで後続との差を大きく広げました。

4区以降は、東京国際大学が粘り強い走りで首位を守り切り、アンカーのイエゴン・ヴィンセント選手



駅伝シーズンの幕開けを告げる出雲駅伝が2年ぶりに行われ、1区ランナーが出雲大社前からスタートを切った

に襷をつなぎました。ヴィンセント選手は落ち着いた表情で襷を受け取ると、圧倒的な走りでフィニッシュテープを切りました。なお、東京国際大学は大会史上初の初出場初優勝を達成し（第1回を除く）、歴史に名を刻みました。6区で激しい上位争いを制した青山学院大学が1分57秒差で2位に、5区で石田洗介選手が区間賞の快走をみせた東洋大学は3位に入りました。

本年は開閉会式や米国IVYリーグ選抜の招待を中止するなど、厳格な新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での開催となりましたが、無事に大会を終了することが出来たのも、主催の出雲市、ご協賛いただいている富士通Japan（株）、ご協力いただいている出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会をはじめとする、多くの方々のご支援ご協力があったことと深く感謝申し上げます。来年度も素晴らしい大会となるよう日々邁進して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

序盤から好位置につけ、独走でアンカーへとつなぐ完璧な駅伝を見せて史上初の初出場初優勝を成し遂げた東京国際大学。左から大志田秀次監督、1区の山谷昌也、2区の佐藤様紀、3区の丹所健、4区の白井勇佑、5区の宗像聖、最終区のイエゴン・ヴィンセント



第33回出雲全日本大学選抜駅伝 成績

10月10日(日) 島根県・出雲大社正面鳥居前(勢溜)～出雲ドーム
上段=総合成績 下段=区間成績

チーム名	1区 (8.0km)	2区 (5.8km)	3区 (8.5km)	4区 (6.2km)	5区 (6.4km)	6区 (10.2km)	総合成績 (45.1km)
①東京国際大学	山谷 昌也(3) (3) 23.46	佐藤 榛紀(1) (3) 40.09 (4) 16.23	丹所 健(3) (1) 1.04.21 (2) 24.12	白井 勇佑(1) (1) 1.23.20 (5) 18.59	宗像 聖(3) (1) 1.42.49 (3) 19.29	Y.ヴァンセント(3) (1) 2.21.10 (1) 29.21	2.12.10
②青山学院大学	近藤幸太郎(3) (1) 23.41	飯田 貴之(4) (5) 40.10 (7) 16.29	佐藤 一世(2) (3) 1.04.54 (3) 24.44	若林 宏樹(1) (3) 1.24.14 (6) 19.20	目片 将大(3) (4) 1.43.54 (6) 19.40	横田 俊吾(3) (2) 2.14.07 (3) 30.13	2.14.07
③東洋大学	児玉 悠輔(3) (7) 23.49	奥山 輝(2) (9) 40.36 (9) 16.47	前田 義弘(3) (8) 1.05.40 (6) 25.04	九嶋 恵舜(2) (6) 1.24.22 (2) 18.42	石田 洗介(1) (2) 1.43.17 (1) 18.55	柏 優吾(3) (3) 2.14.13 (7) 30.56	2.14.13
④國學院大学	島崎 慎愛(4) (6) 23.49	木付 琳(4) (1) 40.05 (1) 16.16	藤木 宏太(4) (7) 1.05.34 (10) 25.29	中西 大翔(3) (4) 1.24.16 (2) 18.42	伊地知賢造(2) (3) 1.43.31 (2) 19.15	平林 清澄(1) (4) 2.14.17 (5) 30.46	2.14.17
⑤駒澤大学	篠原倅太郎(1) (8) 23.57	安原 太陽(2) (6) 40.19 (3) 16.22	花尾 恭輔(2) (5) 1.05.13 (4) 24.54	唐澤 拓海(2) (8) 1.24.55 (8) 19.42	赤津 勇進(2) (8) 1.45.11 (10) 20.16	田澤 廉(3) (5) 2.14.53 (2) 29.42	2.14.53
⑥早稲田大学	菅浦 敦司(2) (2) 23.45	井川 龍人(3) (4) 40.10 (6) 16.25	太田 直希(4) (4) 1.05.04 (4) 24.54	石塚 陽士(1) (2) 1.23.44 (1) 18.40	伊藤 大志(1) (5) 1.44.12 (12) 20.28	中谷 雄飛(4) (6) 2.15.00 (6) 30.48	2.15.00
⑦創価大学	緒方 貴典(3) (11) 24.07	新家裕太郎(3) (10) 41.01 (10) 16.54	P.ムルワ(3) (2) 1.04.50 (1) 23.49	濱野 将基(3) (7) 1.24.33 (9) 19.43	桑田 大輔(2) (7) 1.44.26 (7) 19.53	嶋津 雄大(4) (7) 2.15.37 (9) 31.11	2.15.37
⑧帝京大学	小野隆一朗(2) (9) 24.03	遠藤 大地(4) (7) 40.27 (5) 16.24	橋本 尚斗(4) (6) 1.05.32 (7) 25.05	森田 瑛介(4) (5) 1.24.20 (4) 18.48	西脇 翔太(2) (6) 1.44.22 (8) 20.02	中村 風馬(4) (8) 2.16.24 (10) 32.02	2.16.24
⑨東海大学	市村 朋樹(4) (10) 24.03	溝口 仁(2) (8) 40.36 (8) 16.33	佐伯 陽生(2) (10) 1.06.25 (14) 25.49	水野 龍志(1) (9) 1.26.13 (10) 19.48	神薗 竜馬(2) (9) 1.45.50 (5) 19.37	本間 敬大(4) (9) 2.16.53 (8) 31.03	2.16.53
⑩順天堂大学	伊藤田達弥(3) (5) 23.48	平 駿介(3) (2) 40.06 (2) 16.18	野村 優作(3) (9) 1.06.25 (16) 26.19	服部 壮馬(1) (11) 1.26.57 (14) 20.32	石井 一希(2) (10) 1.46.33 (4) 19.36	四釜 峻佑(3) (10) 2.17.17 (4) 30.44	2.17.17
⑪立命館大学	高畑 凌太(4) (12) 24.15	大森 駿斗(1) (11) 41.29 (12) 17.14	山田 真生(3) (11) 1.06.44 (9) 25.15	永田 一輝(4) (10) 1.26.25 (7) 19.41	安東 竜平(3) (11) 1.46.40 (9) 20.15	山崎 皓太(1) (11) 2.20.14 (15) 33.34	2.20.14
⑫大阪経済大学	坂本 智基(2) (16) 25.20	島野 和志(2) (15) 42.46 (13) 17.26	片山 蓮(3) (13) 1.08.30 (13) 25.44	藤原 亮太(4) (13) 1.28.39 (12) 20.09	寺谷 光汰(1) (13) 1.49.43 (16) 21.04	中角 航大(2) (12) 2.21.48 (11) 32.05	2.21.48
⑬関西学院大学	上田 楓汰(3) (13) 24.39	井手 翔琉(3) (13) 41.47 (11) 17.08	守屋 和希(2) (12) 1.06.58 (8) 25.11	佐藤 良祐(2) (12) 1.27.29 (13) 20.31	中尾 心哉(1) (12) 1.48.45 (17) 21.16	今井 由伸(3) (13) 2.22.26 (17) 33.41	2.22.26
⑭皇學館大学	佐藤 颯馬(2) (19) 25.53	山田 奏楽(1) (17) 43.27 (14) 17.34	笹竹 陽希(3) (17) 1.09.46 (16) 26.19	浦瀬晃太郎(1) (16) 1.29.52 (11) 20.06	中川 雄斗(1) (14) 1.50.16 (11) 20.24	花井 秀輔(3) (14) 2.23.07 (12) 32.51	2.23.07
⑮北信越学連選抜	坪井 響己(M2) (信州大) (14) 24.52	二宮 秀(4) (富山大) (14) 42.41 (15) 17.49	松林 直亮(2) (信州大) (14) 1.08.46 (15) 26.05	久保田雄也(3) (新潟大) (15) 1.29.32 (16) 20.46	野崎 元貴(M1) (新潟大) (15) 1.50.20 (13) 20.48	渡部遼太郎(1) (新潟医療福祉大) (15) 2.23.58 (16) 33.38	2.23.58
⑯広島経済大学	山崎 達哉(4) (15) 25.18	山崎 優希(3) (16) 43.27 (18) 18.09	福永 恭平(3) (16) 1.09.05 (11) 25.38	高橋 侑也(3) (17) 1.29.52 (17) 20.47	斉藤 諒(3) (16) 1.50.42 (14) 20.50	横田 吏功(2) (16) 2.24.36 (19) 33.54	2.24.36
⑰札幌学院大学	佐藤 匠(1) (17) 25.48	大柳 達哉(2) (19) 44.26 (20) 18.38	L.グレ(4) (18) 1.10.07 (12) 25.41	千葉 友太(1) (18) 1.30.54 (17) 20.47	木村 一輝(3) (17) 1.51.51 (15) 20.57	村上 一大(2) (17) 2.25.36 (18) 33.45	2.25.36
⑱東北学連選抜	松浦 崇之(M2) (東北大) (4) 23.48	高橋 和人(3) (山形大) (12) 41.40 (16) 17.52	時田 爽志(6) (秋田大) (15) 1.08.55 (18) 27.15	工藤 友喜(4) (岩手大) (14) 1.29.31 (15) 20.36	三野 鉄心(1) (富士大) (18) 1.52.36 (20) 23.05	脇田 陽平(M2) (東北大) (18) 2.25.50 (13) 33.14	2.25.50
⑲北海道大学	酒井 洋明(M2) (18) 25.49	高橋 佑輔(4) (18) 44.12 (19) 18.23	金綱 航平(M2) (19) 1.11.50 (19) 27.38	林 亮佑(3) (19) 1.32.45 (19) 20.55	奥村 日向(3) (19) 1.54.21 (18) 21.36	川瀬 育夢(5) (19) 2.27.52 (14) 33.31	2.27.52
⑳日本文理大学	木原 雄大(3) (20) 26.34	瀨上 裕太(1) (20) 44.42 (17) 18.08	森賀 竜斗(1) (20) 1.12.42 (20) 28.00	白川 智也(3) (20) 1.34.02 (20) 21.20	一瀬 雅人(3) (20) 1.55.41 (19) 21.39	薬師寺典亮(3) (20) 2.30.42 (20) 35.01	2.30.42
過去最高記録	K.ジューグナ (第一工業大学) 22.30(09年)	田村 和希 (青山学院大学) 15.47(17年)	相澤 晃 (東洋大学) 23.46(19年)	神林 勇太 (青山学院大学) 17.24(19年)	安藤 悠哉 (青山学院大学) 17.43(16年)	G.ダニエル (日本大学) 28.17(09年)	青山学院大学 2.09.05 (2015年)

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第48回理事会 議事録

1. 開催された日時

令和3年5月15日(土) 14時00分～16時30分

2. 開催された方法

Zoomによるインターネット会議

3. 理事総数及び定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 21名

(出席) 有吉 正博、伊東 輝雄、植田 恭史、
岡崎 朋美、片平 誠人、蒲原 一之、
木下 澄雄、工藤 洋治、栗山 佳也、
黒須 雅弘、三條 俊彦、渋谷 俊浩、
杉山 喜一、関根 春幸、鶴崎 健一、
永井 純、長澤 光雄、日隈 広至、
外園 隆、松本 正之、山下 誠

(出席監事) 細萱 智大、山本 俊樹

(欠席) 障子 恵

(オブザーバー) 阿保 雅行、岡田 晃、羽田 雄一、
船原 勝英、宮田 英明、安井 年文、
吉村 篤司

5. 議 題

【協議事項】

第1号議案：令和2年度事業報告及び決算について

第2号議案：令和3年度会員入会の承認(普通会員/
正会員)について

第3号議案 FISU ワールドユニバーシティゲームズ
(2021/成都) 内定選手について

第4号議案：事務局規程の改定について

第5号議案：常任幹事の承認について

第6号議案：その他

【報告事項】

①前回理事会以降の会務の報告

②理事会/定時社員総会の開催について

③日本IC標準記録について

④各主催大会等の状況について

⑤ガバナンスコード原則3(コンプライアンス研修
について)

⑥令和3年度年度主催競技会役員派遣について

⑦その他

・便覧/旅費支給に関する規程 他 正誤表

6. 議事の経過及びその結果

(1)定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を確認した。

(2)議長及び議事録署名人の選出

松本正之会長が議長となり、本会議の開会を宣した。

議事録署名人は定款33条に基づき、松本正之会長、有吉正博副会長、細萱智大監事、山本俊樹監事となった。

(3)議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案【令和2年度事業報告及び決算について】
(資料)

永井純専務理事より令和2年度事業報告及び決算の承認について提案があり、始めに資料に基づき令和2年度事業報告について説明があった。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年であった。開催への検討を重ねたものの、個人選手権、実学対抗、出雲駅伝が中止となった。9月の日本インカレは感染症対策として無観客ではあったものの、開催地である新潟県及び新潟市の多大な協力を得て開催することができた。世界的な感染拡大が続く中、日本代表選手選考競技会となるはずだった立川シティハーフマラソンと続く松江レディースハーフマラソンがともに中止となったが、令和3年度に開催されるFISU ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)(以下WUG)の選手選考を行うため、初めて日本学連単独で男女の日本学生ハーフマラソン選手権大会を開催した。

育成事業においても海外派遣事業(台北、香港、ナイメーヘン)が軒並み中止となった。学生審判員育成については各地でオンライン講習が認められ資格取得は実現したが、実技講習がないことや競技会で経験を積めないことが課題となった。令和元年度は中止となった指導者会議はテーマをそのまま引き継ぎ、Web会議システムにより開催した。

続いて大西清司事務局長より資料に基づき令和

2年度収支決算について説明があった。
別紙資料に詳細な説明を記載する。

(収支決算書について)

普通会員の減少、日本インカレ無観客開催による収入減、出雲駅伝の中止等による協賛収入の減少により、事業活動収益は対前年29,331,363円の減少。事業活動支出においても個人選手権、実学対抗、出雲駅伝、海外遠征の中止等により対前年44,488,992円の減少となり、収支としては5,893,025円増の黒字決算となった。

(貸借対照表について)

【資産の部】

〈流動資産〉 110,765,322円(対前年15,176,039円増)

普通預金が14,974,306円増と大幅増であるのは、日本陸連の登録料が値上がりした分の預り金。

〈固定資産〉 基本財産35,000,000円(対前年増減なし)

〈特定資産〉 特定の目的のために保有する資産
64,562,000円(対前年4,410,000円増)

1, 退職給付引当資産：60万円積み立て

(合計620万円)

2, 賞与引当資産：962,000円積み立て

(合計962,000円)

3, ユニバーシアード派遣事業積立資産：300万円積み立て(合計500万円)

4, 国際交流積立資産：800万円(増減なし)

5, 日本インカレ90回記念大会積立資産：30万円積み立て(合計310万円)

6, 競技会事業引当資産：3200万円(増減なし)

7, 世界大学クロカン派遣積立資産：400万円(増減なし)

8, 海外ロードレース遠征積立資産：330万円(増減なし)

9, 創立100周年積立資産：50万円積み立て(合計200万円)

資産の部 合計210,383,322円

【負債の部】合計46,796,332円

2020年度末における正味財産は163,586,990円(対前年5,893,025円増)となった。

(正味財産増減計算書について)

【経常収益】

○普通会員が対前年2113名減少し、受取会費3,803,400円減少。

○事業収益

・受取協賛金：6,721,491円減少 出雲駅伝中止、実学対抗中止(ミズノ)、WUGなし

・受取参加料：2,707,500円減少 個人選手権中止、日本インカレ参加者減少

・受取広告料：2,189,200円減少 前回インカレ(岐阜)より広告料減少

・入場料等売上：7,119,570円減少 日本インカレ無観客開催

・受取補助金：1,524,764円増加 新潟県・新潟市(日本インカレ)による

・受取負担金：8,913,323円減少 出雲駅伝中止

【経常費用】

公益法人認定時の配賦基準に基づいて管理費(職員給与手当、退職給付費用、賞与引当金繰入額、福利厚生費、水道光熱費、賃借料等)を事業費へ一定の割合で配賦し、事業費に加算して決算案を作成。事業費における主な勘定科目を説明。

・給与・賞与：71,000円増加 定期昇給による

・会議費：2,545,934円減少 コロナ禍において打ち合わせ等の減少

・旅費交通費：29,189,832円減少 主催競技会の中止や派遣人数の縮小、zoom会議により経費減少

・通信運搬費：3,128,859円減少 前年度WUGにおいて棒高跳用ポール輸送が250万円

・印刷製本費：1,786,839円減少 個人選手権中止

・食糧費：2,640,460円減少 個人選手権中止、日本インカレ短縮(4日間→3日間)

・賃借料：1,119,751円増加 日本インカレ会場による

・諸謝金：961,436円減少 WUGなしによる

・表彰費：2,211,536円減少 新記録章の受賞者が減ったことによる

・委託費：1,051,534円増加 日本インカレにおける映像、SISシステム

・支払負担金：4,767,640円減少 個人選手権、実学対抗、出雲駅伝の中止

・雑費：755,851円増加 2022世界大学クロカン辞退による権利金の処理

(正味財産増減計算書内訳表について)

正味財産増減計算書内訳表は、2020年度の公益目的事業＝公1事業(競技会)、公2事業(育成)、公3事業(調査研究)と法人会計(管理費)のそれぞれ各事業の収支内訳(管理費の配賦作業後)を示している。公益目的事業の収支は赤字でなければなら

ない(内閣府)のとおり赤字を計上する結果となった。⇒6,627,414円減少

財産目録、財務諸表における注記、付属明細書は会計士にも確認いただき作成した。

(特定費用準備資金計画案について)

令和2年度の決算にあたり、特定資産のうち、ユニバーシアード派遣事業積立資産へ300万円、日本インカレ90回記念大会積立資産へ30万円、創立100周年事業積立資産へ50万円を特定費用準備資金として繰り入れたい。資料のとおり、令和3年度以降計画的に取崩してそれぞれの事業に充てることについてご承認いただきたい。

続いて、山本俊樹監事より4月27日に日本学連事務局において監査を実施した結果、計算書類及び付属明細書並びに財産目録については正しく記載されており、法令・定款に違反する事項は存在しなかった旨、また、事業報告において法令・定款に違反する事項並びに不当な事実は存在しなかった旨の報告があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第2号議案【令和3年度会員入会の承認(普通会员/正会員)について】(資料)

永井純専務理事より資料に基づき、令和3年度会員入会(普通会员/正会員)の承認について提案があった。

正会員135名、普通会员16,459名について、審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

この際、以下の通り補足があった。

(永井純専務理事) 3年ほど前から徐々に減少傾向にある。

(大西清司事務局長) 前年の同時期と比べると2000名ほど増えている。

(松本正之会長) 普通会员の数が基礎となる団体であるので、各地区学連の方には頑張っていただきたい。

第3号議案【FISUワールドユニバーシティーゲームズ(2021/成都)内定選手について】(資料)

永井純専務理事より、資料に基づきWUG中止に伴う内定選手の取扱いについて提案があった。

8月に開催される予定であったWUGに向けてすでに男女ハーフマラソン及び男子競歩について各3名ずつの代表選手が内定していたが、FISUが

WUGの2021年開催の中止を発表したため、4月9日に代表選手選考要項作成委員会と強化委員会各部長で協議をしたうえ、代表選手の内定取り消しを提案する。

成都大会の2021年開催は中止であるが、来年に延期されるかは不明。2022年に延期された場合、日本学連の申し合わせにおいて現4年生に参加資格がないため、特例として2022年度の学部卒業1年目、院修了1年目も選考対象とすることを検討している。

また2023年はロシア/エカテリンブルグ開催が決まっており、今後のFISUの対応を注視する。審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

この際、以下の通り補足及び質疑応答があった。

(工藤洋治理事)「①内定を取り消すことができるか」

「②内定を取り消すべきか」の2点から検討した。

①はWUG開催時期から逆算して内定を出したに過ぎず、開催が中止となった以上、内定取り消しの正当性はある。②は大会開催が決定してから最適な布陣を編成すべきとの考えから、内定を取り消すべきと考える。

(日隈広至理事) WUGが中止であるか延期であるかによって取り扱いは変わるか。

(永井純専務理事) 中止か延期かはFISUからの提示がまだない。「2021年開催が中止」と考えて検討している。

(渋谷俊浩理事) 新社会人を選考対象とする場合、選考競技会の詳細はどのようになるのか。

(永井純専務理事) 延期がいつになるかにもよるが、6月の個人選手権に新社会人も出場できるようにし、表彰は学生のみとする形を検討している。

(黒須雅弘理事) 今回内定取り消しとなる9名のみに対する取り扱いか。

(工藤洋治理事) 2022年度の学部卒業1年目、院修了1年目の希望者全員が対象になる。

第4号議案【事務局規程の改定について】

永井純専務理事及び大西清司事務局長より資料に基づき「事務局規程」の改定について提案があった。

内閣府の検査において決済についての整備がなされていない旨の指摘を受けたため、事務局規程を改定し、規程の整備を図るものとする。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席

理事全員一致で可決した。

第5号議案【常任幹事の承認について】(資料)

永井純専務理事より資料に基づき提案があった。

安岡あき実(中央学院大2年)について、審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

【報告事項】

①前回理事会以降の会務の報告(資料)

永井純専務理事より資料に基づき職務執行について報告があった。

栗山佳也強化委員長より、5月14日(金)となっている強化委員会ブロック長ミーティングについて、5月13日(木)の開催であった旨訂正があった。

②理事会/定時社員総会の開催について(資料)

永井純専務理事より資料に基づき今後の理事会及び定時社員総会の開催について報告があった。6月12日(土)第13回定時社員総会については感染症対策のためオンライン会議で開催する。同日開催予定であった第49回理事会は中止。6月14日(月)第50回理事会はWUG選考選手承認のため臨時開催する予定であったが、WUG中止に伴い中止。以降の理事会は開催予定(オンライン会議になる可能性あり)。

③日本IC標準記録について(資料)

栗山佳也強化委員長より資料に基づき第90回日本インカレ標準記録について報告があった。

資料の標準記録は現段階では「案」である。

前回大会は新型コロナウイルス感染症対策のため無観客・ターゲットナンバー導入で大会規模を縮小した。賛否両論あったもののおおむね成功したものと考えている。現在も9都道府県で緊急事態宣言が発出されており、引き続き対応していく必要がある。

標準記録A・Bは2020年度学生ランキング50傑から割り出した。競技会運営において各種目がスムーズに進行できる最低限のラインと考える。6月の個人選手権では日本インカレの標準記録B相当を標準記録としたが、予想以上のエントリー人数であったため、日本インカレではさらに精査する。

長距離種目については競技日程の関係で一発決勝とするため、ターゲットナンバー制を導入する。ターゲットナンバーを導入しない種目との整合性

については、競技日程の兼ね合い・種目の特性等から理解いただきたいと考えている。

地区インカレを中止・延期を決定している地区学連もあるため、地区インカレに代わる代替試合において標準記録Cを認める。標準記録Cの是非については賛否あるが、強化委員会としては安易に切り捨てることはしたくないと考えている。ただし標準記録Cの資格者が著しく記録の劣る場合、地区学連において出場の可否を判断していただきたい。

本事項について以下の通り補足及び質疑応答があった。

(日隈広至理事) 10000mWの標準記録Bについて、10000mWと20kmWの記録が対象となっているが、ターゲットナンバーを導入する場合、どのように記録に順位をつけるのか。

(栗山佳也強化委員長) WAのポイントランキングを基にする。10000mWと20kmWのポイントを照らし合わせて上位25名を選定する。

(杉山喜一理事) 3000mSCのターゲットナンバーに(標準記録Cを含む)という記載があるが、特別な取り扱いがあるのか。

(山下誠理事) 特に確認の意味を強調するために記載したが、他に特別な意図はない。

(松本正之会長) 誤解のない記載となるようにお願いする。

(大西清司事務局長) 800m～10000mの標準記録については手動計時も対象となることから1/100の記録がどこまで対象になるか問い合わせがある。

(栗山佳也強化委員長) 800mで言えば標準記録が手動計時1分50秒5であるので、電気計時では1分50秒50までが資格記録となる。その旨を欄外に記載する。

(三條俊彦理事) 地区インカレ及び代替試合、両方とも開催できない地区はないのか。

(栗山佳也強化委員長) 関西インカレが代替試合となる以外は報告を受けていない。

(三條俊彦理事) 両方とも開催できない地区があった場合でも、標準記録Cの取り扱いは変わらないと考えてよいのか。

(栗山佳也強化委員長) その通りである。

④各主催大会等の状況について(資料なし)

永井純専務理事より各主催大会の状況について報告があった。

- ・個人選手権：開催準備を進行中。
- ・実学対抗：オンライン会議を重ねている。従来通りの開催を検討している。
- ・出雲駅伝：オンライン会議を予定している。前回課題となった65歳以上のボランティアの運用について、学生を動員できないかという提案をされている。
- ・大学駅伝：オンライン会議で小委員会を開催している。
- ・女子駅伝：仙台市及び宮城県警より2区のコース変更について要望が出ている。

⑤ガバナンスコード原則3（コンプライアンス研修について）（資料）

永井純専務理事及び船原倫理委員長より資料に基づき報告があった。

前回理事会以降、倫理委員会を開催し、実際の現場での運用はどうか、また次の指導者会議の議題にしてはどうかという提案があった。ドーピングの模擬体験も提案があったが、人間的にも会場的にも実行が困難であることが分かった。各地区学連の実際の事例等を集め、今年の秋頃にオンライン会議で講習することを考えている。

本日の理事会終了後、弁護士である工藤洋治理事よりコンプライアンス研修を予定している。

⑥2021年度主催競技会役員派遣について

永井純専務理事より2021年度主催競技会役員派遣について報告があった。

⑦その他

○便覧／旅費支給に関する規程 他 正誤表

大西清司事務局長より便覧の訂正について報告があった。

○日本スポーツ振興センター助成金について

大西清司事務局長より日本スポーツ振興センター助成金について報告があった。

○陸上競技研究誌の発行回数について

永井純専務理事より陸上競技研究誌の発行回数について報告があった。

安井年文調査研究委員長より、陸上競技研究誌は現在64ページ年4回の発行であるが、年々学会誌が増えていることによる投稿数の減少に伴う投稿の質の低下を防ぐため、発行回数を年3回に減らすことを検討してほしい旨の要望があった。発行を委託している陸上競技社も交えた打ち合わせが必要であり、また本年度は予算も組んでいるため、

来年以降の運用となることで検討する。

○「普通会員の資格に関する規程」について

大西清司事務局長より「普通会員の資格に関する規程」について報告があった。

普通会員の登録陸協について3点の要件が定められているが、地区陸協より「中学校の所在地が選べないのは何故か・登録陸協を中学校の所在地にしたい」といった問い合わせがある。

中学校の所在地を登録陸協として選ぶことは日本学連としては問題なく、日本陸連と検討する予定である。日本陸連に直接登録料を支払うことになったことからそもそも大学生競技者が地区陸協を選ぶ必要があるかという点も含め、今後検討を重ねていく。

本事項について以下の通り質疑応答があった。

（黒須雅弘理事）地区陸協の運営に登録料が必須かどうかを調査する必要があるのではないか。また地区陸協の登録をしないと、県選手権等の出場に問題が生じないか。

（伊東輝雄理事）京都陸協の専務理事を務めているが、一地区陸協の立場として、学生の登録料がないと運営がかなり厳しいものとなる。

（大西清司事務局長）陸協登録については、立場によって、いろいろ課題も多いことはわかっているので、総務委員会、日本陸連と慎重に検討していく。

○学生役員の退任について

永井純専務理事より学生役員・渡邊稜太副幹事長の退任について報告があった。

以上をもって議案の審議等を終了した。

続いて工藤洋治理事によるコンプライアンス研修があり、16時30分、議長は閉会を宣し、解散した。

【概要】〈新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年〉

【公1―競技会】

2020年3月、国内、海外において新型コロナウイルス感染症が蔓延し、男女学生ハーフマラソン選手権大会、世界大学クロスカントリ―選手権(モロッコ)が中止に追い込まれた。その流れは令和2年度に入るとさらに陸上競技界へ甚大な影響をもたらすことになった。東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となった中で、本連合では、日本陸上競技連盟、地区学連、各専門委員会とも連携し、この未知のウイルスに対して、各事業や関連競技会への対策について検討を重ねたが、6月の日本学生個人選手権大会、7月の実業団・学生対抗陸上競技大会は中止を決定した。また、10月の出雲駅伝についても、出雲市と開催の可能性を探りながら検討したが中止の決断に至った。ほとんどの競技会が中止に追い込まれる中で、9月の日本インカレについては、財務面での問題はあったが無観客を決断するなど厳しい感染症対策を取り、新潟県、新潟市をはじめ多くの関係者のご理解、ご協力を得て、開催することができた。陸上競技界において、全国大会の再開を最初に実現したその意義や何より選手から感謝されたことは大きな評価に値するものであった。ロードレースシーズンの皮切りとなるはずだった出雲駅伝の中止は、地方における全国大会開催の難しさ、公道を利用する上での対策の難しさを露呈した結果となった。出雲駅伝の中止をバネに更なる感染症対策の強化をしたこと、地元関係者のご理解とご協力を得ることによって、10月25日開催の全日本大学女子駅伝、11月1日開催の全日本大学駅伝、12月30日開催の富士山女子駅伝の3つの駅伝は無事終了することができた。

2021年は、F I S Uワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)の開催の年である。世界的なパンデミックが続く中、選手選考など派遣の準備は粛々と進めていかなければならない状況であった。日本代表選手選考競技会の皮切りとなる3月14日開催の立川シティーハーフマラソン(男子)、続く3月21日開催の松江レディースハーフマラソン(女子)がともに中止となったため、本連合は、陸上自衛隊立川駐屯地周回コースを貸し切り、無観客で男女の日本学生ハーフマラソン選手権大会兼日本代表選手選考競技会を単独で開催した。ハーフマラソンの単独開催は初めてであったこと、新型コロナ感染症の対策を十分にとることなど、経験の無い事業であったが、関東学連の運営協力のもと、無事終了することができた。

【公2―育成】

育成事業においても新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止や変更が生じた。競技者育成事業の計画において、毎年、日本陸連を通じて招聘される台北国際陸上競技大会、香港インターシティ、長距離選手の強化事業として派遣するオランダ/ナイメーヘン15kmロードレースへの派遣は中止とした。また、審判員育成については、通常の講習会ができないことから、各地でリモートによる講習会が認められ、B級審判の養成、資格取得は実現した。しかしながら実務講習や競技会での審判経験ができていないことにより若干の課題を残した。指導者会議については、令和元年度は中止となったため、テーマであった①「第30回ユニバーシアード競技大会(2019/ナポリ)」の報告、②「2020東京五輪後の実学対抗戦のあり方を考える―検証と課題―」をそのまま本年度のテーマとして、Web会議システムにより実施した。

【公3―調査研究】

調査研究事業においては、年4回の陸上競技研究の発行を無事終了した。共催の陸上競技学会については、オンラインの開催となった。

【法人管理部門】

令和2年度の最初の理事会は5月16日、東京において開催を予定していたが、新型コロナ感染症の影響により、対面による会議を取りやめ、「決議の省略」の手法である書面決議とした。6月13日開催の定時社員総会は、首都圏の感染者数の推移が落ち着いたこと、役員改選の年であったので感染対策を施したうえで対面での開催とした。引き続き開催した理事会も対面での実施とし、会長以下、業務執行役員を理事の互選により選出した。9月11日～13日開催の日本インカレに付随した理事会(9/10開催)は対面で開催することができたが、以降の会議関係は、感染症第2波、第3波の影響もあり、理事会(12月5日、2021年3月6日)、各専門委員会など、ほとんどWeb会議システムによる実施となった。

日本学連の活動の中でも重要な立場にある学生役員のための第46回幹部役員研修会も残念ながらリモート開催となった。始まって以来のオンライン研修であったこと、リアルなふれあいや懇親の場が持てなかったことによる学連運営、全国大会運営への影響が心配されたが、オンラインによる新しい可能性の追求も含め、ポジティブにとらえながら研修を終えることができた。

【普通会員の登録数】

令和2年度、普通会員登録者数は18,226名となった。昨年の20,339名から一気に2,113名の減、率にして約1割の減少となった。新型コロナウイルス感染症は日本陸上界全体の登録数を減少させ、特に高校生は夏のインターハイが開催されなかったこともあり、3年生の登録が大きく落ち込んだと聞いている。大学における次年度以降の登録数にどのように影響があるのか心配なところもあり、新型コロナウイルスの収束に期待したいところである。

【令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業】

公1(競技会)：

- ・2020日本学生個人選手権大会 6月5日(金)～7日(日) 於：平塚市
- ・秩父宮賜杯第60回実業団・学生対抗陸上競技大会 7月18日(土) 於：平塚市
- ・第32回出雲全日本大学選抜駅伝競走 10月11日(日) 於：出雲市

公2(育成)：

- ・2020チャイニーズ台北国際陸上競技大会派遣
- ・香港インターシティ2020
- ・Zevenheuvel en loop15km(オランダ/ナイメーヘン)
- ・西日本インカレ(共催)中止(育成補助金)
- ・競技力向上のための巡回指導
- ・学生審判員研修のための講師派遣

事業の詳細

(1)公1〈競技会〉

No.	競技会	期日	場所	種目数	参加校・競技者数	備考
1	天皇賜盃 第89回日本学生陸上競技 対校選手権大会	2020年 9月10日(金) ～13日(日)	新潟 デンカビッグスワン スタジアム	男子22 女子22	102校…877名 89校…720名	男子優勝校：日本大学(100.5点) 女子優勝校：筑波大学(76点) U20日本新(1).大会新(7)
2	第38回 全日本大学女子駅伝 対校選手権大会	2020年 10月25日(日)	仙台市 38.0km 6区間		国内・25校 (東北選抜の編成は無し)	優勝：名城大 2時間02分57秒 (4年連続5回目) 2位 大東文化大 2時間05分48秒※ 優勝チーム：文部科学大臣杯を授与
3	秩父宮賜杯 第52回全日本大学 駅伝対校選手権大会	2020年 11月1日(日)	名古屋市～伊勢市 106.8km 8区間		国内・25校 (東海選抜・日本学連 選抜の編成は無し)	優勝 駒澤大 5時間11分08秒 (6年ぶり13回目の優勝) 2位 東海大 5時間11分31秒
4	2020全日本大学 女子選抜駅伝競走	2020年 12月30日(月)	富士市・富士宮市 43.4km 7区間		国内…22チーム (全日本大学選抜・静岡 県選抜の編成は無し)	優勝 名城大 2時間21分38秒 2位 大東文化大 2時間24分16秒 ※優勝チーム：文部科学大臣杯を授与
5	第24回日本学生ハーフマラ ソン選手権大会	2021年 3月14日(日)	立川市／陸上自衛 隊立川駐屯地内 周回コース	男子／226エントリー	女子／89エントリー	優勝：鎌田航生(法政大) 1:03:00 2位：鈴木芽吹(駒澤大) 1:03:07 3位：島崎慎愛(國學院大) 1:03:08
6	第24回日本学生女子ハーフ マラソン選手権大会 兼 FISU World University Games(2021/成都) 日本代表選手選考競技会					優勝：小林成美(名城大) 1:14:36 2位：鈴木優花(大東大) 1:14:36 3位：荒井優奈(名城大) 1:14:45
7	第15回日本学生20km競歩 選手権大会 兼 FISU World University Games(2021/成都) 日本代表選手選考競技会	2021年 3月21日(日)	能美市営 20km コース	男子／64エントリー 女子／25エントリー		男子／川野将虎(東洋大) 1:21:01 女子／林 奈海(順天堂大) 1:38:32
8	2020年 日本学生記録年鑑の発行	2021年 3月31日発行			1100部発行	主催競技会の記録、2020年50傑、歴代10傑他

(2)公2〈育成〉

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	第42回北日本学生陸上競技 対校選手権大会	10月17日(金) ～19日(日)	北上総合運動公園陸上競技場	第73回東北インカレ同時開催
2	日本学連栄章贈与式／ 諸記録章(日本学生新記録)		新型コロナウイルスの影響により 式典は中止	2020年 日本学生新記録章 3000m S C：三浦龍司(順天堂大) 8分19秒37 10000m競歩：池田向希(東洋大) 37分25秒90 女子棒高跳(室内)：諸田実咲(中央大) 4m30
3	第104回クロカン日本選手権 (日本学連共催競技会)	2021年 2月27日(土)	福岡市／海の中道海浜公園 男子12km、女子8km	男子最高：三浦龍司(順天堂大)29分10秒(日本選手権1位) 女子最高：和田有菜(名城大) 26分11秒(日本選手権3位)
4	第66回指導者会議	2021年 3月6日(土)	オンラインにて実施	
5	新規B級審判員資格認定		各地オンライン講習も取り入れ ながら実施	講習会は地区学連が開催
6	ドーピング・コントロール・ テスト	2回	各地	検査実施大会(日本IC、杜の都駅伝)
7	知っておきたい アンチ・ドーピングの知識 2020発行	2021年 1月1日	日本学連ホームページに公開	日本学連医事委員会編集

(3)公3〈調査研究〉

No.	事業	期日・回数	場所	備考
1	2020年度日本陸上競技学会共催	2021年2月23日(火)	山梨学院大学	第19回大会
2	研究調査『陸上競技研究』の発行	年4回／121～124号		(ISSN 0919-9918) 日本学連調査研究委員会 2020/6/30、9/30 12/31、2021/3/31発行 ※令和2年度スポーツ振興くじ助成金事業

(4)法人管理部門〈組織力管理〉

No.	事業	期間・回数等	摘要
1	理事会の開催	年5回	第43回(5月22日) 第44回(6月13日) 第45回(9月10日) 第46回(12月5日) 第47回(3月6日)
2	社員総会の開催	年1回	第12回定時社員総会(6月13日)、
3	会員の入会受付	2020年度	名誉会員 42名 正会員 135名 普通会員(学生) 18,226名 対前年△2,113名
4	公認競技会開催申請及び 記録公認申請	2020年度	日本学連傘下の団体の公認競技会開催受付／日本陸連申請 日本学連傘下の団体の記録公認受付／日本陸連申請
5	会報の刊行	3回	各回1,000部(名誉会員、正会員、役員、委員会委員 賛助会員 地区学連加盟校に配布)
6	ホームページの運営・公開	随時	事業計画、事業報告、計算書類等の公開、競技会等に関する情報提供、等
7	学生役員会議	2020年12月7日(土)	オンライン開催 参加対象：各地区学連幹部学生役員
8	第46回学生幹部役員研修会	2021年3月5日(金)	オンライン開催 参加対象：令和3年度各地区学連三役
9	学連情報の掲載	毎月	『月刊陸上競技』に掲載(各地区ヘッドコーチ、地区選出理事、専門委員長などが執筆)

資料

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	105,195,517	89,765,612	15,429,905
現金	108,279	121,393	△ 13,114
普通預金	76,337,042	61,362,736	14,974,306
定期預金	23,000,000	23,000,000	0
振替貯金	5,750,196	5,281,483	468,713
未収金	4,420,264	3,881,000	539,264
仮払金	1,149,541	1,942,671	△ 793,130
流動資産合計	110,765,322	95,589,283	15,176,039
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	25,000,000	25,000,000	0
秩父宮妃記念基金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,200,000	5,600,000	600,000
賞与引当資産	962,000	952,000	10,000
ユニバーシアード派遣事業積立資産	5,000,000	2,000,000	3,000,000
国際交流積立資産	8,000,000	8,000,000	0
日本インカレ90回記念大会積立資産	3,100,000	2,800,000	300,000
競技会事業積立資産	32,000,000	32,000,000	0
世界大学クロスカントリー派遣積立資産	4,000,000	4,000,000	0
海外ロードレース遠征積立資産	3,300,000	3,300,000	0
創立100周年積立資産	2,000,000	1,500,000	500,000
特定資産合計	64,562,000	60,152,000	4,410,000
(3) その他固定資産			
電話加入権	56,000	56,000	0
その他固定資産合計	56,000	56,000	0
固定資産合計	99,618,000	95,208,000	4,410,000
資産合計	210,383,322	190,797,283	19,586,039
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,985,326	220,348	1,764,978
預り金	37,649,006	26,330,970	11,318,036
賞与引当金	962,000	952,000	10,000
流動負債合計	40,596,332	27,503,318	13,093,014
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,200,000	5,600,000	600,000
固定負債合計	6,200,000	5,600,000	600,000
負債合計	46,796,332	33,103,318	13,693,014
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	10,000,000	10,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	25,000,000	25,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	58,362,000	54,552,000	3,810,000
正味財産合計	163,586,990	157,693,965	5,893,025
負債及び正味財産合計	210,383,322	190,797,283	19,586,039

資料

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,500	3,908	△ 408
基本財産受取利息	3,500	3,908	△ 408
特定資産運用益	8,220	8,769	△ 549
特定資産受取利息	8,220	8,769	△ 549
受取会費	35,523,800	39,261,200	△ 3,737,400
正会員受取会費	675,000	675,000	0
普通会员受取会費	32,806,800	36,610,200	△ 3,803,400
賛助会員受取会費	1,220,000	1,100,000	120,000
陸上研究誌受取会費	822,000	876,000	△ 54,000
事業収益	41,790,275	60,508,036	△ 18,717,761
受取協賛金	17,589,905	24,311,396	△ 6,721,491
受取放映料	17,600,000	17,580,000	20,000
受取参加料	4,679,000	7,386,500	△ 2,707,500
受取広告料	1,672,000	3,861,200	△ 2,189,200
入場料等売上	249,370	7,368,940	△ 7,119,570
受取補助金等	11,521,764	9,997,000	1,524,764
受取助成金	11,521,764	8,547,000	2,974,764
受取補助金	0	1,450,000	△ 1,450,000
受取負担金	4,600,000	13,513,323	△ 8,913,323
受取負担金	4,600,000	13,513,323	△ 8,913,323
雑収益	852,659	339,345	513,314
受取利息	568	473	95
雑収益	852,091	338,872	513,219
経常収益計	94,300,218	123,631,581	△ 29,331,363
(2) 経常費用			
事業費	82,818,491	126,922,802	△ 44,104,311
給料手当	8,480,000	8,423,200	56,800
臨時雇賃金	316,800	379,200	△ 62,400
退職給付費用	480,000	480,000	0
賞与引当金繰入額	769,600	761,600	8,000
福利厚生費	1,707,798	1,653,215	54,583
会議費	1,698,530	4,131,064	△ 2,432,534
旅費交通費	16,170,346	45,083,672	△ 28,913,326
通信運搬費	2,128,336	4,980,689	△ 2,852,353
消耗品費	1,668,638	2,405,705	△ 737,067
備品費	220,805	298,424	△ 77,619
印刷製本費	7,430,791	9,200,109	△ 1,769,318
光熱水料費	75,221	80,544	△ 5,323
食糧費	1,202,040	3,842,500	△ 2,640,460
賃借料	10,452,779	9,226,154	1,226,625
リース料	164,190	139,035	25,155
諸謝金	901,700	1,863,136	△ 961,436

科目	当年度	前年度	増減
表彰費	2,441,202	4,652,738	△ 2,211,536
渉外費	32,932	99,579	△ 66,647
委託費	10,075,019	9,037,434	1,037,585
租税公課	1,445,728	1,212,800	232,928
支払負担金	12,648,116	17,393,112	△ 4,744,996
雑費	2,307,920	1,578,892	729,028
管理費	5,588,702	5,973,383	△ 384,681
給料手当	2,120,000	2,105,800	14,200
臨時雇賃金	79,200	94,800	△ 15,600
退職給付費用	120,000	120,000	0
賞与引当金繰入額	192,400	190,400	2,000
福利厚生費	426,949	413,303	13,646
会議費	147,867	261,267	△ 113,400
旅費交通費	97,194	373,700	△ 276,506
通信運搬費	477,880	529,647	△ 51,767
消耗品費	3,439	7,861	△ 4,422
備品費	135,331	10,297	125,034
印刷製本費	260,128	277,649	△ 17,521
光熱水料費	75,222	80,548	△ 5,326
賃借料	747,281	854,155	△ 106,874
リース料	41,046	34,758	6,288
渉外費	28,180	58,973	△ 30,793
委託費	54,257	40,308	13,949
租税公課	361,432	303,200	58,232
支払負担金	109,044	131,688	△ 22,644
雑費	111,852	85,029	26,823
経常費用計	88,407,193	132,896,185	△ 44,488,992
評価損益等調整前当期経常増減額	5,893,025	-9,264,604	15,157,629
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,893,025	-9,264,604	15,157,629
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,893,025	-9,264,604	15,157,629
一般正味財産期首残高	147,693,965	156,958,569	△ 9,264,604
一般正味財産期末残高	153,586,990	147,693,965	5,893,025
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	163,586,990	157,693,965	5,893,025

資料

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当事項はありません。
2. 重要な会計方針
 - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
該当事項はありません。
 - (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
賞与引当金………従業員に対する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち、当期に負担すべき額を計上しております。
 - (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
キャッシュフロー計算書を作成する必要があるため該当事項はありません。
 - (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。
3. 会計方針の変更
該当事項はありません。
4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	25,000,000	0	0	25,000,000
秩父宮記念基金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	35,000,000	0	0	35,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	5,600,000	600,000	0	6,200,000
賞与引当資産	952,000	962,000	952,000	962,000
ユニバーシアード派遣事業積立資産	2,000,000	3,000,000	0	5,000,000
国際交流引当資産	8,000,000	0	0	8,000,000
日本インカレ90回記念大会積立資産	2,800,000	300,000	0	3,100,000
海外ロードレース遠征積立資産	3,300,000	0	0	3,300,000
競技会事業引当資産	32,000,000	0	0	32,000,000
世界大学クロスカントリー派遣積立資産	4,000,000	0	0	4,000,000
創立100周年事業積立資産	1,500,000	500,000	0	2,000,000
小計	60,152,000	5,362,000	952,000	64,562,000
合計	95,152,000	5,362,000	952,000	99,562,000

5. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

単位：円

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	25,000,000	0	25,000,000	0
秩父宮記念基金	10,000,000	10,000,000	0	0
小計	35,000,000	10,000,000	25,000,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	6,200,000	0	6,200,000	6,200,000
賞与引当資産	962,000	0	962,000	962,000
ユニバーシアード派遣事業積立資産	5,000,000	0	5,000,000	0
国際交流引当資産	8,000,000	0	8,000,000	0
日本インカレ90回記念大会積立資産	3,100,000	0	3,100,000	0
海外ロードレース遠征積立資産	3,300,000	0	3,300,000	0
競技会事業引当資産	32,000,000	0	32,000,000	0
世界大学クロスカントリー派遣積立資産	4,000,000	0	4,000,000	0
創立100周年事業積立資産	2,000,000	0	2,000,000	0
小計	64,562,000	0	64,562,000	7,162,000
合計	99,562,000	10,000,000	89,562,000	7,162,000

6. 担保に供している資産
該当事項はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	56,000	0	56,000
合計	56,000	0	56,000

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

単位：円

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	4,420,264	0	4,420,264
合計	4,420,264	0	4,420,264

9. 保証債務

該当事項はありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項はありません。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

単位：円

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
第89回日本学生陸上競技対校選手権助成金 (コンベンション開催費補助金)	新潟県	0	3,316,500	3,316,500	0	一般正味財産
	新潟市	0	3,800,000	3,800,000	0	
民間スポーツ振興費等補助金	スポーツ庁	0	1,470,264	1,470,264	0	
陸上競技研究誌発行くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	2,935,000	2,935,000	0	
合計		0	11,521,764	11,521,764	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当事項はありません。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項はありません。

14. 関連当事者との取引の内容

該当事項はありません。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当事項はありません。

16. 重要な後発事象

該当事項はありません。

17. その他

該当事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載しております。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,600,000	600,000	0	0	6,200,000
賞与引当金	952,000	962,000	952,000	0	962,000
合計	6,552,000	1,562,000	0	0	7,162,000

F I S Uワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都) 内定選手の取扱いについて

【経緯】

- 令和3年3月6日(土)第47回理事会において、メダルを多く獲得できる種目である男女ハーフマラソン、男子競歩について代表選考会で1～3位に入った選手には内定をだすことが承認された。
- 令和3年3月14日、日本学生ハーフマラソンで以下の選手が内定。
***男子ハーフマラソン**：鎌田航生(法政大学・新4年生)、鈴木芽吹(駒澤大学・新2年生)、島崎慎愛(國學院大学・新4年生)
***女子ハーフマラソン**：小林成美(名城大学・新3年生)、鈴木優花(大東文化大学・新4年生)、荒井優奈(名城大学・新3年生)
- 令和3年3月21日、日本学生20km競歩で以下の選手が内定。
***男子競歩**：古賀友太(明治大学・新4年生)、住所大翔(順天堂大学・新4年生)、石田 昂(立命館大学・新4年生)
- 令和3年4月3日、F I S UのHPにF I S Uワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)は中止との発表。
- 令和3年4月9日、代表選手選考要項作成委員会+関係種目に係る部長と協議。
 ①選考要項は本大会の日程(2021年8月23日～28日)を明示した上で選考基準をしていること、
 ②もし次大会へスライドするとなると本年の個人選手権等では選考されないこととなる他種目とのバランスがとれない、
 ③新型コロナウイルスという不可抗力事由に起因すること、
 ④正式決定ではなく内定段階であること等から、内定を取り消してもその合理性・正当性は説明できるので、法的に問題はない。
 ⑤内定者男女9名のうち新4年生が6名おり、現在の日本学連の申し合わせでは新4年生は代表選手になれない。
- 4月16日に開催される倫理委員会で意見を参考的に聞きながら、5月10日の企画委員会で確認し、5月15日の理事会に提案。(内定取り消しの提案)

【今後の対応】

- 今年度中止になり来年度に延期される可能性があるWU Gへの対応
 新4年生は日本学連の申し合わせ(現役学生の派遣)によると、WU Gに参加できなくなるので可哀想ではないかという意見多。
 その解決方法としてもし来年に開催されるとしたならば特例として、コロナ渦のため全種目において社会人1年目の人も代表になる可能性があることをJ O Cに理解してもらおう。また日本学連も今回にかぎり申し合わせを一時撤回する。
- ※2023年はすでにロシア開催が決まっており、どのようにF I S Uが対応するか不明。

令和3年度(3/6以降) 職務執行の状況報告

月 日	行 事 (報告内容)
3月6日(土)	第47回理事会 (リモート開催)
3月14日(日)	第24回日本学生ハーフマラソン選手権大会 兼 第24回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会 兼 FISU World University Games (2021/成都) 日本代表選手選考競技会 会場：陸上自衛隊立川駐屯地
3月19日(金)	学生ハーフマラソン選手権大会終了挨拶/立川市 於：泉体育館
3月21日(土)	第15回日本学生20km競歩選手権大会 兼 FISU World University Games (2021/成都) 日本代表選手選考競技会 会場：能美市
3月24日(水)	富士山女子駅伝実行委員会 会計監査 於：日本学連事務所
3月25日(木)	倫理委員会開催事前打ち合わせ(リモート開催)
3月29日(月)	神奈川陸上競技協会 個人選手権打ち合せ 於：神奈川陸協事務所
4月8日(木)	2020富士山女子駅伝実行委員会/第6回最終(日本学連役員はリモートにて出席)
4月9日(金)	F I S U ワールドユニバーシティゲームズ/内定者の扱いに関する検討会議(リモート開催)
4月10日(土)	日本学連10000m記録会(F I S U /WU G代表選考会からの変更) 於：日体大健志台)
4月15日(木)	平塚陸上競技場/個人選手権打ち合せ 於：平塚市
4月16日(金)	倫理委員会(リモート開催)
4月19日(月)	全日本大学女子駅伝実行委員会開催事前打ち合せ/対読売新聞社 於：日本学連事務所
4月19日(月)	全日本大学駅伝小委員会開催事前打ち合せ/対朝日新聞社 於：日本学連事務所
4月20日(火)	第61回実学対抗陸上 2者ミーティング(実業団・学生)(リモート開催)
4月22日(木)	埼玉陸上競技協会 日本インカレ開催打ち合せ 於：埼玉陸協事務所
4月26日(月)	強化委員会/中長距離ブロックミーティング(リモート開催)
4月27日(火)	令和2年度会計監査 於：日本学連事務所
4月27日(火)	競技委員会 報道部会 於：(リモート開催)
4月28日(水)	財務委員会(リモート開催)
4月28日(水)	神奈川陸上競技協会 個人選手権打ち合せ 於：神奈川陸協事務所
5月10日(月)	第27回企画委員会(リモート開催)
5月10日(月)	全日本大学駅伝/代表者会議/小委員会(リモート開催)
5月12日(水)	2021日本学生陸上競技個人選手権-番組編成会議 於：日本学連事務所
5月13日(木)	総務委員会(リモート開催)
5月14日(金)	強化委員会ブロック長ミーティング(リモート開催)
5月15日(土)	第48回理事会(リモート開催)

資料

令和3年度／第13回定時社員総会・理事会について

【令和3年度 第13回定時社員総会】

会議名	当初の日程／場所	変更／場所等	備 考
第13回定時社員総会	6月12日（土）／東 京	6月12日（土）／W e b 会議システムへ	感染症対策のため。

令和3年度理事会開催計画について

当初計画の理事会	当初の日程／場所	変更／場所等	備 考
第49回理事会	6月12日（土）／東京	中止	定時社員総会のW e b 会議変更に関連
第50回理事会	6月14日（月）／W e b 会議	中止	ワールドユニバーシティゲーム選手役員選考承認
第51回理事会	9月16日（木）／熊谷市	予定通り	第49回理事会の予定
第52回理事会	12月4日（土）／東京	予定通り	第50回理事会の予定＋
第53回理事会	2022年3月5日（土）／東京	予定通り	第51回理事会の予定

資料

天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会 標準記録

男子	標準記録A	標準記録B	出場人数	女子	標準記録A	標準記録B	出場人数
100m *	10.45	10.55		100m *	11.99	12.15	
200m *	21.10	21.33		200m *	24.60	25.10	
400m *	47.25	47.80		400m *	55.70	57.00	
800m	1.50.5	1.52.0		800m	2.11.4	2.15.0	
1500m	3.48.0	3.51.0		1500m	4.27.0	4.34.0	
5000m	13.55.0	14.05.0	25	5000m	16.05.0	16.20.0	25
10000m	28.55.0	29.25.0	25	10000m	34.00.0	34.40.0	25
110mH *	14.05	14.45		100mH *	13.85	14.30	
400mH *	51.30	52.00		400mH *	1.00.50	1.01.50	
3000mSC	8.55.0	9.01.0	20 (C 標準記録含む)	3000mSC	10.30.0	10.55.0	20 (C 標準記録含む)
4 × 100m *		40.90		4 × 100m *		47.90	
4 × 400m *		3.16.00		4 × 400m *		3.54.00	
10000mW	42.00.0	10000mW 42.30.0 20kmW 1.27.00	25	10000mW	49.30.0	10000mW 50.00.0 20kmW 1.43.00	25
走高跳	2m13	2m10		走高跳	1m73	1m69	
棒高跳	5m20	5m10		棒高跳	3m80	3m70	
走幅跳	7m65	7m50		走幅跳	5m95	5m85	
三段跳	15m65	15m40		三段跳	12m50	12m30	
砲丸投	16m00	15m20		砲丸投	13m90	13m20	
円盤投	47m50	46m00		円盤投	46m00	44m00	
ハンマー投	61m00	59m00		ハンマー投	54m00	52m00	
やり投	69m00	67m50		やり投	50m50	48m50	
十種競技	6850	6600		七種競技	4950	4750	

(注) ①十種競技については、棒高跳3m以上の実績のあるものとする。
 ②「*」を付した種目については、電気計時による記録のみ有効とする。

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第13回定時社員総会 議事録

1. 開催された日時

令和3年6月12日(土) 14時05分～15時12分

2. 開催された方法

Web会議システム (Zoom)

3. 正会員総数及び定足数

現在数134名、定足数68名

4. 出席正会員数 110名

(本人出席) 63名、(委任出席) 47名、(欠席) 24名

5. 議題

【協議事項】

第1号議案 令和2年度事業・決算報告(案)承認について

【報告事項】

①令和3年度日本学連主催競技会について

②令和3年度普通会員数報告

③F I S Uワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)について

④その他

6. 議事の経過及びその結果

(1)定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を確認した。

(2)議長及び議事録署名人の選出

定款第4章第16条第1項に基づき、松本正之会長が議長となり、本会議の開催を宣した。

議事録署名人は、定款第4章第20条第2項に基づき、松本正之会長ならびに、出席した正会員のうちから議長が指名した関隆史会員及び吉村篤司会員となった。

(3)議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案【令和2年度事業・決算報告(案)承認について】(資料)

永井純専務理事より令和2年度事業及び決算報告の承認について提案があり、始めに資料に基づき令和2年度事業報告について説明があった。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年であった。開催への検討を重ねたものの、個人選手権、実学対抗、出雲駅伝が中止

となった。9月の第89回日本インカレは感染症対策として無観客ではあったものの、開催地である新潟県及び新潟市の多大な協力を得て開催することができた。世界的な感染拡大が続く中、令和3年度に開催されるF I S Uワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)(以下W U G)の日本代表選手選考競技会となるはずだった立川シティハーフマラソンと松江レディースハーフマラソンがともに中止となったが、W U Gの選手選考を行うため、初めて日本学連単独で男女の日本学生ハーフマラソン選手権大会を開催した。

育成事業においても海外派遣事業(台北、香港、ナイメーヘン)が軒並み中止となった。学生審判員育成については各地でオンライン講習が認められ資格取得は実現したが、実技講習がないことや競技会で経験を積めないことが課題となった。指導者会議は令和元年度に中止となったテーマをそのまま引き継ぎ、オンライン会議システムにより開催した。

調査研究事業においては陸上競技研究誌の年4回の発行を無事に終えたが、安井年文調査研究委員長より発行回数を減らす要望があるため今後検討を進める。

大西清司事務局長より資料に基づき令和2年度収支決算について説明を行い、続いて、山本俊樹監事より4月27日に日本学連事務局において監査を実施した結果、計算書類及び付属明細書並びに財産目録については正しく記載されており、法令・定款に違反する事項は存在しなかった旨、また、事業報告において法令・定款に違反する事項並びに不当な事実が存在しなかった旨の報告があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席正会員全員一致で可決した。

【報告事項】

①令和3年度日本学連主催競技会について(資料)

永井純専務理事より資料に基づき令和3年度日本学連主催競技会について報告があった。

・個人選手権：6月4日～3日間、レモンガスタ

ジアム平塚で開催された。WUGの日本代表選手選考競技会であったが、2021年度内のWUG開催が中止となったため、選考競技会の冠を外した。

- 実学対抗：7月17日にレモンガススタジアム平塚で開催する。伝統ある競技会だが人気が低迷しているため、実業団連合と対応策を協議している。
- 日本インカレ：9月17日から熊谷スポーツ文化公園で開催する。観客を入れて開催するために感染症対策を万全にしなければならない。
- 出雲駅伝：10月10日開催。前回大会は走路員ボランティアが集まらず開催を断念したが、本年は中国四国学連で160名の補助員を動員できることになった。
- 女子駅伝：10月31日開催。仙台市及び宮城県警より2区のコース変更を要望されており、協議中。
- 大学駅伝：11月7日開催。SDGsを前面に押し出し、10年ほど前から取り組んでいるカーボンオフセットと合わせて環境に配慮した大会づくりを打ち出す。

②令和3年度普通会員数報告（資料）

永井純専務理事より資料に基づき令和3年度普通会員数について報告があった。

4月28日時点16,459名。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた昨年の同時期と比較すると、だいぶ戻ってきている。是非、また2万人を超えるよう、各地区学連におかれましても、会員の増に向けて努力していただきたい。

③FISUワールドユニバーシティゲームズ

（2021／成都）について

JOCより、WUG開催期日が2022年6月26日から7月7日になったこと、また、先週、エントリー手続きについて連絡があったが、参加資格や規模についてはまだ情報がない。2023年はロシア／エカテリンブルグ大会が計画されており、2年連続でWUGが開催されるのか疑問もある。報があり次第対応していく。

④その他

大宮真一北海道学連ヘッドコーチより、日本インカレ標準Cについて質問があった。

（大宮真一北海道学連HC）北日本インカレ優勝者が今年の日本インカレでは標準記録Cの対象外となるのはなぜか。

（栗山佳也強化委員長）西日本インカレの中止が5月31日に決定したことによる公平性を鑑みたこ

と、また競技運営上ターゲットナンバーを設定するにあたり、各地区インカレの優勝者との優先順位がつけられないため、北日本インカレ優勝者を標準記録Cの対象外とした。

（大森重宜北信越学連会長）今年の日本インカレでは標準記録Cがないということか。

（栗山佳也強化委員長）各地区インカレの優勝者は対象となる。

（永井 純 専務理事）この件は、社員総会において検討する内容のものではないので、強化委員会において対応してほしい。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時12分、議長は閉会を宣し、解散した。

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第49回理事会 議事録

1. 開催された日時

令和3年9月16日(木) 17時00分～17時40分

2. 開催された場所

マロウドイン熊谷 新館5階会議室「飛翔」

3. 理事総数及び定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 20名

(出席) 有吉 正博、伊東 輝雄、植田 恭史、
片平 誠人、蒲原 一之、木下 澄雄、
工藤 洋治、栗山 佳也、黒須 雅弘、
三條 俊彦、渋谷 俊浩、杉山 喜一、
関根 春幸、鶴崎 健一、永井 純、
長澤 光雄、日隈 広至、外園 隆、
松本 正之、山下 誠

(出席監事) 細萱 智大、山本 俊樹

(欠席) 岡崎 朋美、障子 恵

5. 議題

【協議事項】

第1号議案 2022年度主催競技会カレンダーについて(第91回日本ICについて)

第2号議案 令和3年度普通会員について

第3号議案 日本学連常任幹事について

第4号議案 その他

【報告事項】

①会務の報告

②主催駅伝について

③FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)について

④その他

6. 議事の経過及びその結果

(1)定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を確認した。

(2)議長及び議事録署名人の選出

松本正之会長が議長となり、本会議の開会を宣した。

議事録署名人は定款33条に基づき、松本正之会長、有吉正博副会長、細萱智大監事、山本俊樹監事となった。

(3)議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案【2022年度主催競技会カレンダーについて(第91回日本ICについて)】(資料)

永井純専務理事より、資料に基づき2022年度主催競技会カレンダーの承認について提案があった。

競技会・社員総会・理事会の日程はほぼ例年通りであるが、個人選手権を例年の6月ではなく4月15日～17日の開催としたい。昨年度の開催が延期となったFISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)(以下WUG)が6月26日～7月5日(陸上競技は6月30日～7月5日)に開催されるに当たり、選手名簿の提出期限が2ヵ月前の4月26日頃になるため、それに間に合わせる日程となる。2022日本学生陸上競技個人選手権大会兼WUG選考会とし、男女10000mと男女混成競技を加え、また今回に限り学部卒1年目・院修了1年目の選手も選考対象とする。選手権と選考会の二本立てとなるため開催の工夫が必要になると感じている。開催日程については大西清司事務局長と神奈川陸協専務理事とで調整中である。

2022年3月のハーフマラソン及び競歩はWUG成都の選考会、2023年3月のハーフマラソン及び競歩はWUGエカテリブルグの選考会となる。

また、第91回日本インカレは2022年9月9日～11日、京都・西京極での開催となる。2023年の第92回日本インカレは開催を打診していた栃木陸協が辞退されたため、東京近辺で検討する。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第2号議案【令和3年度普通会員について】(資料)

永井純専務理事より資料に基づき、令和3年度普通会員の承認について提案があった。

20000名を目標としているが、8月現在18458名。19000名にすべく、各地区学連の理事の方には力を貸していただきたくぜひとも願います。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第3号議案【日本学連常任幹事について】(資料)

永井純専務理事より、資料に基づき日本学連常任幹事の承認について提案があった。

松原月歌(まつばら・つきか 中央大学1年)より自己紹介があり、審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第4号議案【その他】

特になし

【報告事項】

①会務の報告(資料)

永井純専務理事より資料に基づき前回理事会以降の会務について報告があった。

前回の理事会以降、2021個人選手権、定時社員総会、実業団・学生対抗が開催された。また日本インカレ開催準備、各駅伝の打ち合わせ及び実行委員会がオンラインで頻繁に行われた。開催することを大前提として開閉会式をどのような形で行うか検討しており、1、通常通り執り行う、2、優勝旗等の返還式のみとする、3、セレモニーを中止とする、のいずれかになる。

②主催駅伝について

永井純専務理事より主催駅伝の開催について報告があった。

各主催駅伝は新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催する方向で準備を進めている。仙台の女子駅伝は競技場を発着とするコースへ変更することを検討しているが難航しており、打ち合わせを重ねている。

全ての駅伝において開催地の自治体から中止要請が発令されれば従うことになる。また派遣役員については昨年同様に少ない人数となる可能性がある。

報告の後、以下の通り質疑応答があった。

(鶴崎健一理事) 男子の大学駅伝では学連選抜チームは選出されるのか。

(永井純専務理事) 男女駅伝の選抜チームについては、強化委員副委員長である伊東輝雄理事を中心としてこれから検討するところである。

③FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)について(資料)

永井純専務理事より資料に基づきWUGについて報告があった。

資料5は2021年開催時のもので参考資料である。2022年開催に向けてこれから修正作業を行う。ま

た8月26日にFISUより新たなレギュレーションが発表されたが、JOCからは連絡がないため、スタッフ・選手の派遣等は未確認である。

④その他

○永井純専務理事より第90回日本インカレにおける地区学連会長会議、栄章贈与式を中止とした旨の報告があった。

○関根春幸常務理事より日本インカレの開催準備について報告があった。緊急事態宣言下で多くの制限がある中での開催となるが、2300名に上る多数のエントリーがあった。前日練習の会場において選手がマスクを外して会話をしている状況が、会場管理者に「マスクを外した談笑」と捉えられ、指導後も変化が見られなかったため、練習会場を予定より早く閉鎖した。会場管理者からは、このような状況が続くようであれば競技会途中でも中止を要請せざるを得ないと抗議があった。

大会当日は雨の予報であり、その場合は練習会場として雨天走路を開放するが、選手を優先して入場させ、監督やコーチには遠慮していただくなどして会場の密を避けたい。この旨は当日朝のアナウンスやメールで通達するなどして周知を徹底したい。

(松本正之会長) 長い時間をかけて関係各所と打ち合わせを重ね、やっと開催までこぎつけたと思う。各大学には適切に通達し、厳重に注意をしていってほしい。

(工藤洋治理事) 誓約書を提出していただくので、悪質な事態があれば出場の失格もあり得ることを理解していただいていると思う。この場での決定内容が現場の選手個人に届いていない体感もあるので、今後の指導が重要である。

(松本正之会長) このことをあいまいにしては今後に悪影響がある。従わない場合には失格もあり得ること等、文言が厳しくなっても警告するべきである。

○工藤洋治理事より迷惑撮影防止について報告があった。8月下旬に西京極で開催された高校生の陸上競技会で、無観客試合にもかかわらずフェンスの外から競技者を撮影している不審者があり、京都府の迷惑防止条例に基づき書類送検となった。迷惑撮影について今までは撮影した映像を削除したうえで厳重注意のみで釈放されており、書類送検までなったのは初めてのことで、大きな前

進である。

以上をもって議案の審議等を終了したので、17時40分、議長は閉会を宣し、解散した。

資料

2022年度 日本学連関連競技会・主要会議日程(案)

日本学連主催の競技会日程は2022年3月開催の理事会で承認されます。(令和3年9月16日現在) □は日本学連主要競技会

年	月	日	事業名	会場
2022年	4月	15日(金)～17日(日) 打診中	2022日本学生陸上競技個人選手権大会/WUG選考会	平塚
		18日(月) 予定	理事会(WUG選考)	リモート
		調整中	兵庫リレーカーニバル	神戸
		29日(金・祝)	織田幹雄記念国際陸上競技大会	広島
	5月	3日(火・祝)	静岡国際陸上競技大会	静岡(小笠山)
		14日(土)又は21日(土)	理事会(定時)	東京
		4日(土)～5日(日)	106回日本選手権混成/U20日本選手権	秋田
	6月	9日(木)～12日(日)	106回日本陸上競技選手権/U20日本選手権	調整中
		18日(土)	第14回定時社員総会 / 理事会	東京
		6/26(日)～7/7(木) 陸上: 6/30-7/5	FISUワールドユニバーシティゲームズ(成都)	四川省/成都
	7月	7/15(金)～7/24(日)	World Athletics Championships Oregon 2022	USA / ユージーン
		調整中	西日本学生陸上競技対校選手権大会(共催)	
		調整中	秩父宮賜杯第62回実業団・学生対抗陸上競技大会(2021オールスターナイト陸上)	レモンガスタジアム平塚(神奈川)
		調整中	北日本学生陸上競技対校選手権大会(共催)	
	8月	3日(水)～7日(日)	全国高校陸上	徳島
		8日(木)	理事会(定時)	京都
		9日(金)～11日(日)	天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会	京都(西京極)
	9月	10日(土)～25日(日)	第19回アジア大会	中国/杭州
		6日(木)～10日(月)	国民体育大会	宇都宮
		10日(月/祝=スポーツの日)	第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲市(島根)
	10月	15日(土)	箱根駅伝予選会	立川市(東京)
		30日(日)	第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	仙台市(宮城)
		6日(日)	秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会	名古屋/伊勢
	11月	日(日) 未確認	ナイメーヘン・ヒルズ15kmロードレース	オランダ/ナイメーヘン
		11日(日)	理事会(定時)	東京
	12月	30日(金)	2022全日本大学女子選抜駅伝競走	富士市/富士宮市
2023年	2月		第106回日本選手権大会クロスカントリー競走(共催)	福岡市
		4日(土)	理事会(定時)	東京
		4日(土)	第68回指導者会議	東京
			第26回日本学生ハーフマラソン選手権大会	立川市(東京)
		19日(日)	第17回日本学生20km競歩選手権大会	能美市(石川)
			第26回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	松江市(島根)

【参考】	期日	競技会	場所
2023年	8/9～19	ワールドユニバーシティゲームズ	Ekaterinburg,
	8/19～27	World Athletics Championships	Budapest
	9/	日本I C	エリア?
2024年	7/26～8/11	Olympic games	Paris
	9/	日本I C	エリア?

月 日	行 事 (報告内容)
5月15日(土)	第48回理事会(リモート開催)
5月17日(月)	第61回実業団・学生対抗陸上競技大会(2者)実行委員会(リモート開催)
5月19日(水)	埼玉陸上競技協会／熊谷陸上競技場打ち合わせ会議(リモート開催)
5月19日(水)	全日本大学駅伝打ち合わせミーティング(朝日新聞社)(リモート開催)
5月24日(月)	出雲駅伝実行委員会準備事務局会議(リモート開催)
5月25日(火)	全日本大学女子駅伝実行委員会(於：仙台市 リモート併催)
5月26日(水)	日本学生個人選手権／報道部会ミーティング 於：日本学連事務局
5月27日(木)	競技委員会 於：日本学連事務局
5月29日(土)	日本学生個人選手権／審判主任会議 於：平塚競技場
6月03日(木)	日本学生陸上競技個人選手権大会前日準備 於：平塚競技場
6月04日(金)～06日(日)	日本学生陸上競技個人選手権大会 於：平塚競技場
6月07日(月)	富士山女子駅伝交通対策会議 於：富士市
6月10日(火)	全日本大学駅伝打ち合わせミーティング(朝日新聞社)(リモート開催)
6月12日(土)	第13回定時社員総会(リモート開催)
6月14日(月)	強化委員会／ブロック長、ヘッドコーチ(リモート開催)
6月15日(火)	全日本大学女子駅伝／読売新聞社ミーティング(リモート併催)
6月15日(火)	実業団・学生対抗陸上競技大会／報道部会ミーティング 於：日本学連事務局
6月16日(水)	全日本大学女子駅伝コース変更検討ミーティング(リモート併催)
6月17日(木)	富士山女子駅伝実行委員会 於：富士市／リモート併催
6月22日(火)	第61回実業団・学生対抗陸上競技大会 4者実行委員会(リモート開催)
6月26日(月)	第33回出雲駅伝実行委員会準備ミーティング 於：出雲市／リモート併催
6月29日(木)	第1回日本インカレ開催検討会議(リモート開催)
7月06日(火)	全日本大学女子駅伝コース変更検討ミーティング(リモート併催)
7月08日(木)	日本インカレE P会議(リモート開催)
7月13日(火)	全日本大学女子駅伝／読売新聞社ミーティング(リモート併催)
7月15日(木)	競技委員会(リモート開催)
7月17日(土)	第61回実業団・学生対抗陸上競技大会 於：平塚市
7月26日(月)	第33回出雲駅伝実行委員会 (於：出雲市／リモート併催)
7月29日(木)	第2回日本インカレ開催検討会議(リモート開催)
8月02日(月)	全日本大学駅伝SDGsに関するミーティング(リモート開催)
8月12日(木)	全日本大学駅伝SDGsに関するミーティング(リモート開催)
8月17日(火)	強化委員会(リモート開催)
8月23日(月)	第3回日本インカレ開催検討会議(リモート開催)
8月24日(火)	日本インカレ／報道部会(リモート開催)
8月27日(金)	第4回日本インカレ開催検討会議(リモート開催)
8月31日(火)	全日本大学駅伝打ち合わせミーティング(朝日新聞社)(リモート開催)
9月01日(水)	全日本大学女子駅伝／読売新聞社ミーティング(リモート併催)
9月01日(水)	日本インカレエントリー締め切り作業 於：日本学連事務所
9月02日(木)	日本インカレ番組編成会議 於：日本学連事務所
9月03日(金)	日本インカレ／テレビ朝日関係／ライブ配信関係下見 於：熊谷陸上競技場
9月06日(月)	日本インカレ報道部会(リモート開催)
9月07日(火)	全日本大学駅伝運営会議(リモート開催)
9月07日(火)	企画委員会(リモート開催)
9月08日(水)	日本インカレE P会議 於：日本学連事務所
9月09日(木)	富士山女子駅伝実行駅伝実行委員会 於：富士市／リモート併催
9月11日(土)	日本インカレ・パブリシティー 於：日本学連事務所／リモート併催
9月13日(月)	日本インカレ審判主任会議 於：上尾市
9月15日(水)	競技委員会 於：日本学連事務所
9月16日(木)	第49回理事会 於：熊谷市／ホテルマロードイン

第90回日本インカレの運営について

競技委員長 関根 春幸

新型コロナウイルス感染症が新たなステージを迎え、変異種が猛威を振るう中での大会実施となりました。選手の皆様をはじめ、多くの関係者にご迷惑・ご不便をおかけしながらの大会運営となりましたことをまず、はじめにお詫び申し上げます。また、埼玉県、熊谷市、熊谷スポーツ文化公園のスタッフの方々のご理解のもと大会が無事に終わりましたことに御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数が激増し、医療体制が逼迫、そして緊急事態宣言発令、また更なる延長となり、大会運営は非常に困難を極めました。新型コロナ感染症蔓延防止対策を昨年度の大会より強化し、万全の態勢で臨みました。しかし、参加者の急増もあり、なかなか感染対策が十分に効果を発揮させられないのではないかという不安から前日練習は結果的に1時間早く終了しなくてはならない状況になりました。

その後、開催された日本学生陸上競技連合理事会でもこの窮状を理事の方々に訴え、協力を要請しました。各地区の理事の方々が競技開始から、練習場などを巡回していただき、それぞれの大学にマスクの着用などを指導していただき、新型コロナ感染症蔓延防止対策が効果を発揮しました。本当日にご協力に感謝申し上げます。

今年の大会は何としても通常通り開催したいとの思いで臨みましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、昨年同様に窮屈な大会となりました。また、エントリーの際、コロナ禍の中であることを考慮して参加標準記録の有効期間を延ばしたことや若干、参加標準記録を下げたことで参加競技者数は延べ2300名ほどになりました。いつもの年の1.5倍近くの参加者数があり、競技時程の作成、進

行表の作成には苦労しました。また、400mや400mハードルでは例年とは異なり、準決勝を入れるなどしたこともあり、競技者の負担は増えたのではないかと危惧しています。

そんな中、学生新記録が3つ、大会新記録が9つ生まれました。

○女子10000m	32.04.58	鈴木 優花（大東文化大）
○男子110mH	13.44	泉谷 駿介（順天堂大）
○男子110mH	13.59	村竹ラシッド（順天堂大）
◎○女子4×100mR	44.51	福岡大（伊藤・児玉・渡邊・城戸）
○女子100mH	13.25	芝田 愛花（環太平洋大）
◎○男子三段跳	17.00	伊藤 陸（近畿大工業高専）
◎○女子3000mSC	9.41.43	吉村 玲美（大東文化大）
○女子100mH	13.23	芝田 愛花（環太平洋大）
○男子110mH	13.29	泉谷 駿介（順天堂大）

◎：日本学生新記録 ○：大会新記録

このコロナ禍で十分な練習ができない、また大会の開催も限られた中で最高のパフォーマンスをこの大会で見せてくれたことに感謝します。

同時に男子総合優勝を果たした順天堂大学、女子総合優勝を果たした日本体育大学にも祝福の拍手を送りたいと思います。

来年の大会は京都・タケビシスタジアム京都で開催されます。来年こそ新型コロナウイルス感染症を封じ込め、万全の態勢で競技会が開催できることを期待しています。来年の要項や参加標準記録を皆さんに早めにお知らせして、その記録突破に向けて日々の練習を積み重ね、競技場でお会いできることを楽しみにしております。次回の大会に向け、競技委員会も準備を始めました。今年の反省を踏まえさらに発展的にこの競技会がよい方向に進むよう努力してまいります。

第90回日本インカレの会場管理とパブリシティ

総務委員会 岡田 晃

1. 事前準備

新型コロナウイルス感染症が一向に収束する様子が見えず、変異種の日本上陸まで心配され、やっとワクチン接種が開始されるという状況下で開催検討に向けて打ち合わせは始まりました。埼玉県は昨年の新潟県を上回る厳しい貸し出し条件が設定されていて、参加校に必ず徹底させられるかが懸念され、参加者全員にアルコール除菌シートを配布し、自分の手指の消毒、座った座席の消毒を各自で行ってもらうことにしました。

また新潟大会ではIDの不正利用行為もあったことから、競技規則に定められた「大会参加者として好ましくない行為を成した関係者は競技会から追放できる」という条項を厳格に適用することになりました。

今大会も無観客にすることになっていましたが、埼玉県からの指示でサブトラックやスタンドを含む競技場内への入場者個人名簿の提出が義務付けられたので、関係IDに加えて学生証や免許証等の顔写真の入った本人確認書類を持ち歩くように求めました。

パブリシティとして映像配信は、大型映像の配信のみ、結果速報に関しては、ライブリザルトが見られるように、システムに変更を加える様にしました。

2. 会場管理

大会前日、サブトラックで芋の子洗い状態が発生し、競技

場から「非常に無秩序で感染症対策もできておらず、翌日の大会に競技場施設を貸し出せない」と言われ、古屋敷幹事長からアドバイスを求められたので、サブトラックの使用を予定より1時間早く中止し、場内に滞留していた関係者の一斉退去を行使することで、競技場に判断の時間的猶予を求めました。すぐさま総務委員会委員をサブトラックに集め、使用中止と退去通告を行いました。結果として15分で全員の退去が完了し、競技場側からは、逆に統制は取れるという信頼を得る結果となり、期間中の使用上の注意を受けることもありませんでした。

大会開催中、恐れていたとおり、関東の大学でIDの不正使用が発覚しました。そもそもはルール違反事項についての事情聴取を行っていたのですが、余りにも不自然な様子に身分証明書の提示を求めた結果、IDとは別人であることが判明し、更に来場関係者としての登録もされていない人物であることも判明したので、後の処置は専務理事と常務理事に裁定を委ねました。

3. パブリシティ

記録速報サイトには延べで8万人近く、200万ページを超える視聴者数を出すことができました。今後はこの数字を基本として行きたいと思います。動画中継については、大型映像の映像のみに頼らざるを得ず、また、投てき場からの映像が途切れてしまい、投てき関係者からお叱りを受けました。

令和3年 日本学生陸上競技連合

会員について(2021年度)

令和3年8月31日現在

正会員 135名

普通会員 18,516名

賛助会員 7名

日本学生陸上競技連合 普通会員の各月変遷

単位：人

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	月合計
年度前	196	555	6,153	449	1,084	2,849	1,159	894	13,339
4月	290	134	1,075	307	288	406	236	413	3,149
5月	46	179	399	90	111	75	140	64	1,104
6月	7	9	103	30	137	87	61	47	481
7月	12	5	71	20	40	66	35	34	283
8月	8	6	53	8	7	27	9	17	135
9月	3	6	27	12	2	6	8	10	74
10月									0
11月									0
12月									0
二重登録		-1	-2	-2	-4		-1		-10
退会者	-1	-2	-12	-1	-1	-18	-1	-3	-39
合計	561	891	7,867	913	1,664	3,498	1,646	1,476	18,516

増員数 名

【参考：普通会員数の推移】

単位：人

年度	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	合計	前年比	5年前比	10年前比
2021	561	891	7,867	913	1,664	3,498	1,646	1,476	18,516	342 ↓	-2,181	638
2020	556	896	7,704	914	1,610	3,419	1,600	1,475	18,174	-2,122 ↓	-1,916	933
2019	702	979	8,373	996	1,938	3,764	1,787	1,757	20,296	-446 ↓	840	3,444
2018	726	1,017	8,487	1,024	2,073	3,808	1,832	1,775	20,742	-41 ↓	2,168	4,085
2017	749	973	8,588	1,009	2,098	3,758	1,853	1,755	20,783	86 ↑	2,609	4,450
2016	756	933	8,578	1,009	2,088	3,689	1,884	1,760	20,697	607 ↑	2,819	4,483
2015	705	943	8,221	1,021	2,007	3,547	1,904	1,742	20,090	634 ↑	2,849	4,269
2014	680	929	7,981	965	1,936	3,507	1,843	1,615	19,456	882 ↑	2,604	4,230
2013	628	914	7,547	903	1,835	3,383	1,781	1,583	18,574	400 ↑	1,917	3,991
2012	640	910	7,273	832	1,826	3,360	1,736	1,597	18,174	296 ↑	1,841	3,969
2011	711	933	7,065	834	1,756	3,236	1,723	1,620	17,878	637 ↑	1,664	3,929
2010	688	919	6,792	821	1,686	3,106	1,653	1,576	17,241	389 ↑	1,420	3,374
2009	715	878	6,641	879	1,611	3,000	1,630	1,498	16,852	195 ↑	1,626	2,920
2008	754	952	6,626	822	1,480	2,923	1,598	1,502	16,657	324 ↑	2,074	
2007	651	977	6,497	799	1,426	2,870	1,520	1,593	16,333	119 ↑	2,128	
2006	651	1,005	6,452	743	1,493	2,829	1,471	1,570	16,214	393 ↑	2,265	
2005	636	1,041	6,258	763	1,429	2,728	1,441	1,525	15,821	595 ↑	1,954	
2004	599	984	6,118	751	1,321	2,605	1,410	1,438	15,226	643 ↑	1,294	
2003	587	885	5,864	749	1,257	2,519	1,311	1,411	14,583	378 ↑		
2002	604	841	5,663	755	1,184	2,478	1,259	1,421	14,205	256 ↑		
2001	617	811	5,604	685	1,123	2,486	1,258	1,365	13,949	82 ↑		

2021年度	男子	女子	合計	前年比	比率(%)
北海道	441	120	561	5	3.0
東北	664	227	891	-5	4.8
関東	6,040	1,827	7,867	181	42.5
北信越	727	186	913	0	4.9
東海	1,203	460	1,663	64	9.0
関西	2,473	1,025	3,498	85	18.9
中国四国	1,248	398	1,646	68	8.9
九州	1,119	358	1,477	8	8.0
全体	13,915	4,601	18,516	406	

2020年度	男子	女子	合計
北海道	424	132	556
東北	660	236	896
関東	5,930	1,756	7,686
北信越	728	185	913
東海	1,147	452	1,599
関西	2,408	1,005	3,413
中国四国	1,175	403	1,578
九州	1,110	359	1,469
全体	13,582	4,528	18,110

令和3年度 賛助会員

(4月27日現在 五十音順、敬称略)

ご入会ありがとうございました

【個人】 浅見美弥子 石黒 成彬 入江 毅 黒岩 重幸 小池 七郎 佐藤 良男
竹田 憲司 田中 淳浩 豊岡 示朗 藤井 邦夫 山崎 健

【法人】 マット株式会社

賛助会員募集中

この法人の目的及び活動に賛同し賛助する個人又は団体の方は、是非ご検討ください。

〈年会費〉 賛助会員 ￥10,000 (1口)

※年会費は毎年納入していただく必要があります、年度内(3月31日)まで有効となります。

※本法人への賛助会費は寄付として扱われ、所得税等の納税控除の対象となります。

〈特典〉 ・会報への氏名・団体名の記載

・天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会への無料入場

〈入会手続きについて〉

①申込書(個人・団体)に必要事項を記入し、本法人へ郵送又はFAXしてください。



②本法人の指定銀行口座へ、年会費をお振込み願います。



③ご入金を確認でき次第、本法人の賛助会員として登録させていただきます。

何かご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

【発行所】 公益社団法人 日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

編集後記

会報第161号の発行以降の事業計画では、6月に上旬に日本学生陸上競技個人選手権、中旬には定例社員総会、7月下旬に実業団対学生対抗陸上競技大会、9月中旬に第90回天皇賜盃日本学生対校陸上競技選手権が行われました。今年の個人選手権はワールドユニバーシティゲームズ(中国/成都)の代表選手選考会になるはずでしたが、世界的にコロナ渦であり、2022年に延期されました。8月にFISUから情報が寄せられ、2020年6月下旬に中国・成都市で開催されます。

これを受け、日本学生陸上競技連合の理事会で来年度の個人選手権を選考会とすることが了承されました。選手名簿を日本陸連を通じJOCに提出するのが4月下旬になるため、個人選手権は4月中旬に行われることになりました。また、26歳以下で学部卒1年目、院修了1年目の人も、今回に限り選考対象とすることになりました。

定例社員総会は今年については役員の改選がないため、令和2年度の決算を承認していただきました。実業団との対抗戦は学生陣も頑張りましたが、残念ながら敗れてしまいました。

9月に埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われた第90回の記念すべき日本インカレですが、開催するかどうか、開催する場合は有観客か無観客かなどを、日本インカレ開催検討委員会を立ち上げ、連日長時間話し合いました。結論として、大学生にぜひパフォーマンス

スを発揮させたいという声が多く、開催、無観客で行うこととしました。日本陸連から出されているガイドラインを守りながら、埼玉県・熊谷市・競技場から指導を受けながら、また学連内では総務委員会、競技委員会、医事委員会、幹事長を筆頭に学生幹事の皆さんの頑張りのもあり、開催にこぎ着けました。蓋を開けると学生新記録、大会新記録の続出で、いろいろ工夫しながら頑張ったことが実を結んだかなという感じで無事に終わりました。

昨年中止となった出雲全日本大学選抜駅伝を10月10日に開催したことを皮切りに、これからの日本学連の行事は駅伝大会に入ります。10月最終の日曜日は仙台での全日本大学女子駅伝選手権、11月最初の日曜日には熱田神宮～伊勢神宮を結ぶ全日本大学駅伝選手権、12月30日には富士宮～富士を結ぶ全日本大学女子選抜駅伝(富士山女子駅伝)が開催されます。

どの駅伝の実行委員会でも、コロナ対策に全神経を使いながら準備を進めているところです。昨年度の経験である程度大会開催のノウハウは手にしたと思います。コロナがいつ収束するか見通しは立ちませんが、その中、日本学生陸上競技連合は用心に用心を重ね、また皆様からいろいろご意見をお伺いしながら粛々と令和3年度の事業計画を進めていくつもりです。今後とも進展と向上を目指したいと存じます。

(副会長/専務理事 永井 純)

「陸上競技研究」購読のご案内



第126号
2021, No. 3
2021年9月発行



公益社団法人 日本学生陸上競技連合は機関研究誌『陸上競技研究』を発行しています。
購読会員として入会ご希望の方は、年会費(6,000円)を下記へ郵便振替にてご送金ください。

口座記号番号 00190-4-142923

加入者名 (株)陸上競技社 陸上競技研究

通信欄に「何号から1年間」と必ず明記してください。

バックナンバーについては(株)陸上競技社(Tel.03-5215-8881)にお問い合わせください。

(株)陸上競技社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 TEL. 03(5215)8881 FAX.03(5215)8882 <http://www.rikujyokogyo.co.jp>